

# ササキ

人に、環境にやさしい



## 取扱説明書

### ブロードキャスター

**CM451WD 601WD**



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こす恐れがあります。  
ご使用前に必ずお読みください。お読みになった後も必ず製品の近くに保管してください。

**安全作業で家族も笑顔**

# 目次

はじめに	1
安全に作業するために	2
◎ 一般的な注意事項	
◎ 作業の前に	
◎ トラクタへの着脱	
◎ 路上走行	
◎ 圃場の出入り	
◎ 作業をしているとき	
◎ トラクタを止めるとき	
◎ 点検や格納のとき	
安全銘板貼り付け位置	8
保証とサービスについて	9
◎ 保証書について	
◎ アフターサービスについて	
◎ 補修部品の供給年限について	
各部の名称	10
装着前の準備	11
装着方法	11
トラクタへの装着順序(スタンダード仕様)	
ユニバーサルジョイントの切断方法	
トラクタへの装着順序(オートヒッチ仕様)	
作業前の点検・調整	15
1, フレームの調整	
2, シャッターの調整	
3, 散布量の調整	
4, 散布部の調整	
5, 肥料を混合する場合	
6, 給油	
7, シャーボルトの点検	
混合物の取り出し方法	21
散布作業方法	22
◎ 散布作業	
保守管理	25
主要諸元	26
無線リモコンシャッターについて	27


---

# 商品をお買い上げいただき

誠にありがとうございます。

---

## はじめに

- ◎ この取扱説明書は、ブロードキャスター(以下本機)の使用注意事項について記載しております。ご使用前には、必ずこの取扱説明書を熟読するまでお読みのうえ、正しくお取り扱いいただき、最良の状態でお使いください。
- ◎ 本機は有機肥料の混合と散布をする機械です。  
その他の目的に使用しないでください。
- ◎ お読みになった後は必ず製品に近接して保管してください。
- ◎ 本機を貸与又は譲渡された場合は、この取扱説明書を商品に添付してお渡してください。
- ◎ この取扱説明書を紛失又は損傷された場合は、速やかに当社の特約店・販売店または JA にご注文ください。
- ◎ なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。  
その際には、本書の内容及び写真・イラストなどの一部が、本機と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ◎ ご不明なことやお気付きの点がございましたら、お買い上げいただきましたお店、又はお近くの特約店・販売店にご相談ください。
- ◎  印付きの下記のマークは、安全上特に重要な項目ですので、必ずお守りください。



### 危険

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを意味します。



### 警告

この警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを意味します。



### 注意

この警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを意味します。

- ◎ この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント「安全に作業するために」を記載してあります。ご使用前に必ずお読みください。

## 安全に作業をするために

本機をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み、ご理解いただいたうえで安全な作業を行ってください。安全に作業するためにぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「**▲** 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

### ◎ 一般的な注意事項

#### **▲** 警告 こんな時は作業しない

- ◆ 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
- ◆ 酒を飲んだとき。
- ◆ 妊娠しているとき。
- ◆ 18歳未満の人。

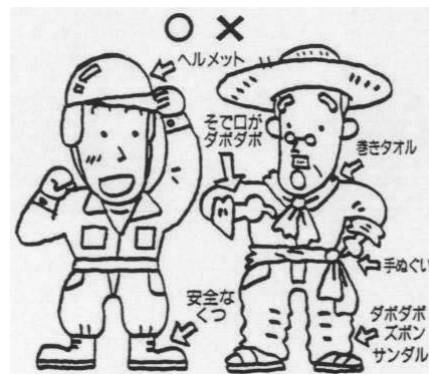


#### **▲** 警告 作業に適した服装をする

はちまき・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めのついた靴を着用し、作業に適した防護具などをつけ、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】

機械に巻き込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。

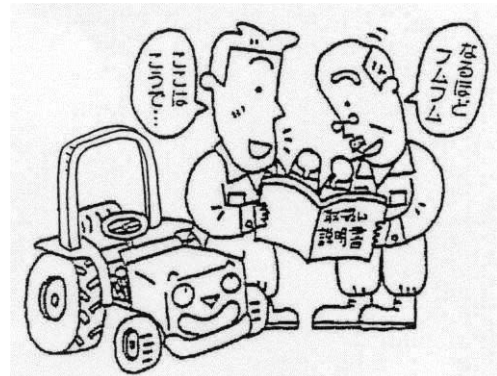


#### **▲** 警告 機械を他人に貸すときは取扱方法を説明する

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

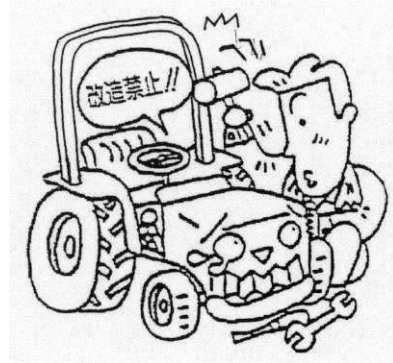
死亡事故や重大な傷害、機械の損傷をまねくおそれがあります。



## ⚠ 注意 機械の改造禁止

純正部品や指定以外のアタッチメントを取り付けしないでください。

【守らないと】  
事故・ケガ・機械の故障をまねくおそれがあります。

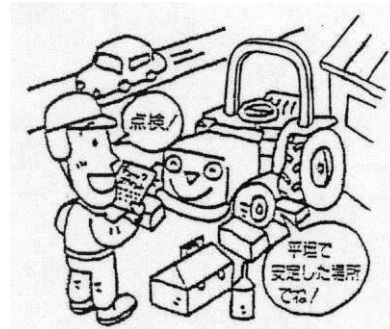


## ◎ 作業の前に

### ⚠ 警告 始業点検整備は平坦で安定した場所で行う

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、トラクタの前輪には車止めをして点検整備してください。

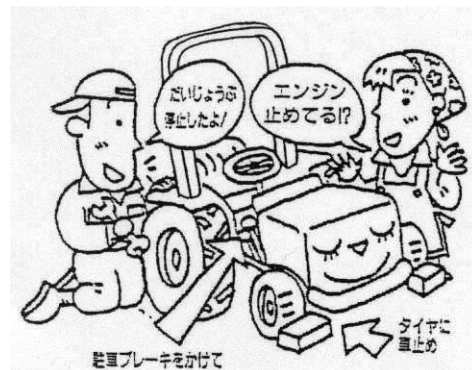
【守らないと】  
機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



### ⚠ 警告 点検整備中はエンジン停止

点検・整備・修理または掃除をするときは、必ずエンジンを停止してください。

【守らないと】  
機械の下敷きになるなど、傷害事故をおこすおそれがあります。



## ⚠ 注意

- ◇作業の前には点検・整備を行ってください。
- ◇各部のボルト・ナットなどのゆるみや、ピンの脱落がないか確認してください。
- ◇カバー類を外したら、必ず取り付けてください。

## ◎トラクタへの着脱

### ⚠ 危険 運転時はジョイントカバーを外さないでください

【守らないと】

ジョイントに巻き込まれて傷害事故を起こすおそれがあります。

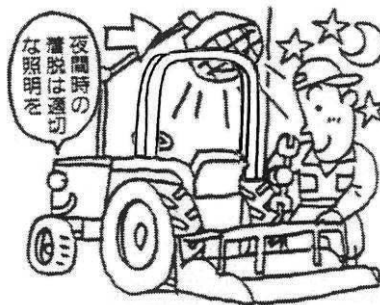


### ⚠ 警告 作業機の着脱は平坦な場所で行なう

作業機の着脱は平坦で安定した場所で行なってください。  
夜間は、適切な照明をしてください。

【守らないと】

事故をおこすおそれがあります。



### ⚠ 警告 作業機の下にもぐったり、足を入れない

作業機の下にもぐったり、足を踏み込んだりしないでください。

【守らないと】

何らかの原因で作業機が下がったときに、傷害事故を負うおそれがあります。



### ⚠ 警告 重い作業機をつけるときはウェイトでバランスを取る

重い作業機を装着したときは、フロントにバランスウェイトをつけてバランスを保ってください。

【守らないと】

バランスを崩して事故を引きおこすおそれがあります。



### 注意

- ◇トラクタから離れるときはエンジンを止め、駐車ブレーキをかけてP T O変速を中立にしてください。
- ◇2人以上で着脱を行う場合は、互いに合図を確認しあって作業してください。
- ◇ユニバーサルジョイントの止めピンが確実に軸溝にはまっているか確認してください。
- ◇取り付け部のピンがすべて確実に装着されているか確認してください。

## ◎ 路上走行

### 注意 公道走行時は作業機の装着禁止

公道を走行するときは、作業機を取り外してください。

**また、公道走行においては、ホッパーに肥料を入れた状態で走行しないこと。**

【守らないと】

事故を引き起こすおそれがあります。

### 注意

- ◇トラクタ、作業機に運転者以外の人を乗せないでください。
- ◇作業機の回転を止めて走行してください。
- ◇トラクタの落下速度調整ハンドルを回して必ず油圧ロックをしてください。
- ◇旋回するときは、作業機に人や物が接触しないように注意してください。
- ◇作業機を装着した時に機体寸法が大きくなるので、移動走行時は十分注意してください。
- ◇溝のある農道や両側が傾斜している農道では路肩に十分注意して移動してください。

## ◎ 圃場の出入り

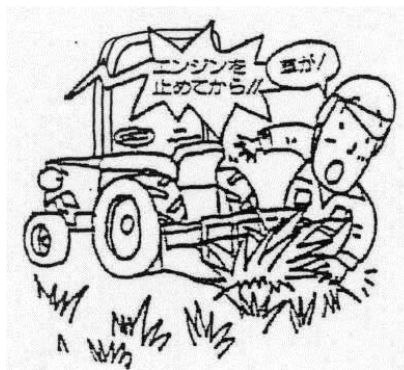
### 注意

圃場に入るときは、必ず前進で速度を落とし、作業機を低くして重心を下げ、畦や段差に対して直角に進んでください。畦や段差に対して斜め方向に進むと、横滑りや転倒する危険があります。

## ◎ 作業をしているとき

**⚠ 警告 回転部（ツメ・刃、軸等）に**  
**巻き付いた草等を取るときはエンジン停止**

【守らないと】  
機械に巻き込まれて、重傷を負うおそれがあります。



**⚠ 警告 子供を近づけない**

子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

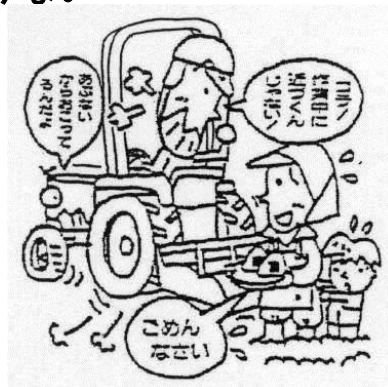
【守らないと】  
傷害事故を引き起こすおそれがあります。



**⚠ 警告 トラクタと作業機の周辺に人を近づけない**

トラクタを移動して作業機を着脱するときは、トラクタの周辺や作業機との間に人が入らないようにしてください。

【守らないと】  
傷害事故を引き起こすおそれがあります。



**⚠ 警告 作業機指定のPTO回転を守る**

低速回転用の作業機を高速回転で使用しないでください。  
**作業機指定のPTO回転速度(540rpm以下)を厳守してください。**

【守らないと】  
作業機が異常作動し、事故や機械の破損を引き起こします





## ⚠ 注意

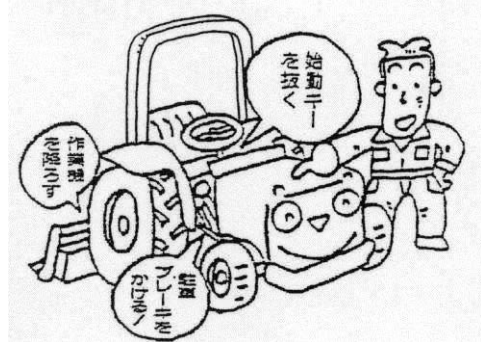
- ◇補助作業者がいる場合は、動作ごとに合図をかわしてください。
- ◇回転部分や動くところには触れないでください。

## ◎ トラクタを止めるとき

### ⚠ 警告 機械から離れるときは作業機を地面に降ろしてエンジンをとめる

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】  
トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。

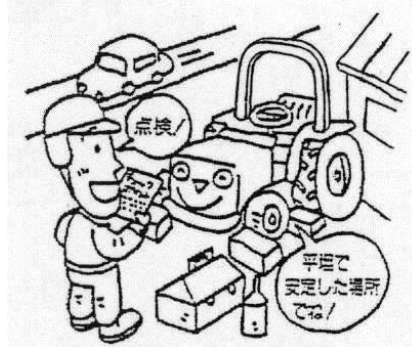


## ◎ 点検や格納のとき

### ⚠ 警告 点検整備は平坦で安定した場所で行う

機械から離れるときには、平坦で安定した場所に置き、エンジンを止めて、必ず駐車ブレーキを掛け車止めをしてください。

【守らないと】  
トラクタが動きだし、事故を起こすおそれがあります。



## ⚠ 注意

- ◇点検、整備時はトラクタのエンジンを止めてください。
- ◇機械の下にもぐったり、下で作業しないでください。
- ◇キャスターなどが付いている場合は、車止めをして作業してください。

# 安全銘板貼り付け位置



No. 0000-01140-0



- ☆安全銘板が破損したり、はがれた場合は上記番号にて手配の上、貼り直して下さい。
- ☆新しい安全銘板を貼る場合は、汚れを完全にふき取って、乾燥させ元の位置に貼って下さい。

## 保証とサービスについて

### ◎ 保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際必要となるものです。お読みになった後は大切に保管して下さい。

### ◎ アフターサービスについて

ご使用中の故障やご不審な点等不具合がある場合は、お買い上げいただいた販売店等へご相談下さい。その際、次のことをご連絡下さい。

- 型式名
- シリアル No.



型式名とシリアル No

- 不具合状況(どのような現象ですか?…)
- ご使用状況は?(どのくらい作業していましたか?…)
- 不具合が発生した時の状況を出来るだけ詳しくご連絡下さい。  
(どんな作業をしていた時に?…)

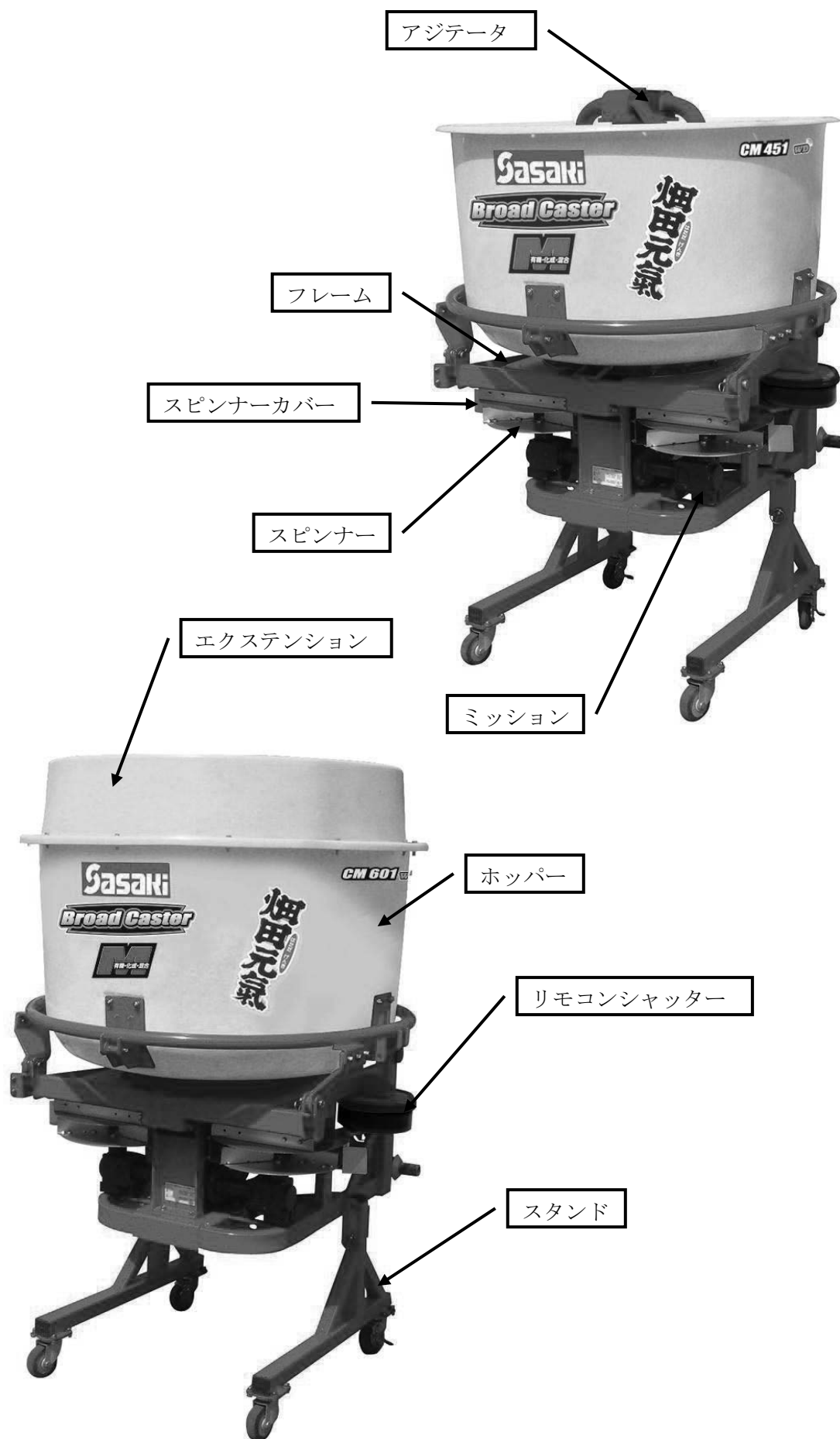
### ◎ 補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても特殊部品については納期等をご相談させていただく場合もあります。

#### ●重要

- 機械の改造は危険ですので行わないでください。改造した場合や取扱説明書に正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になりますので注意してください。
- 電動リモコンシャッターの「リモコンシャッター本体」、「コントローラ」、「配線類」は分解、改造をしないでください。メーカー保証の対象外になります。

各部の名称



## 装着前の準備

各部のボルト・ナットの緩みはないかの確認、ピン類の脱落はないかの確認を行って下さい。

**!** **注意** 組付けしたボルト・ナット類は、確実に締め込んで下さい。緩みがあると思わぬ事故を起こす恐れがあります。

**!** **注意** 前部が軽いトラクタの場合、バランス調整にウエイトを装着して下さい。

## 装着方法

**!** **危険** ジョイントを取付けする時は、必ずエンジンを切して下さい。  
エンジンがかかったまま作業すると巻き込まれ死傷事故を起こす恐れがあります。

**!** **警告** ①ブロードキャスターの着脱は、平坦な場所で行って下さい。凸凹地の場合、思わぬ事故を起こす恐れがあります。  
②ブロードキャスターの下にもぐったり、足を入れたりしないで下さい。思わぬ事故を起こす恐れがあります  
③トラクタとブロードキャスターの間に不用意に入らないで下さい。入る場合は必ずエンジンを切して下さい。挟まれて死傷事故を起こす恐れがあります。

**!** **注意** ① トラクタのPTO変速は、中立にして下さい。  
② 回りに十分注意して下さい。特に子供が近寄らないようにして下さい。  
③ ユニバーサルジョイントのノックピンが確実に入っている事を確認して下さい  
④ 二人以上で作業をする場合は、お互いに合図をして確認し合って作業をして下さい。  
特にトラクタのエンジンをかける時や、エンジンが作動している間は、十分注意して下さい。  
思わぬ事故を起こす恐れがあります。

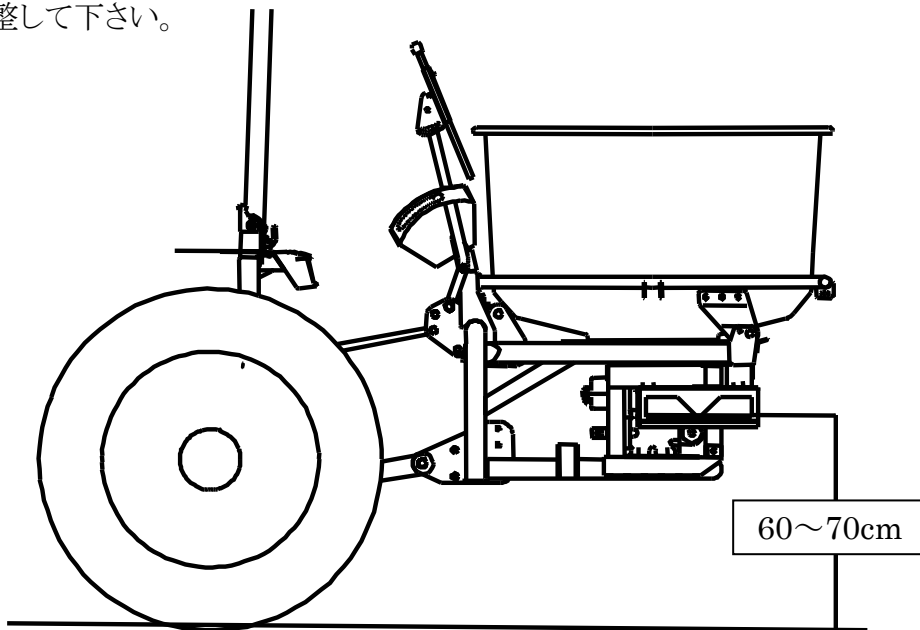
## ○トラクタへの装着順序(スタンダード仕様の場合)



### 注意

- ①. 取り付けする時は、必ずエンジンを切って下さい。
- ②. 着脱作業は、平坦な場所で行って下さい。
- ③. 作業機の回りに人がいないことを確かめてから作業して下さい。

- 1, トラクタの左ロワリンク、右ロワリンク、トップリンク、の順で装着して下さい。
- 2, ユニバーサルジョイントを装着して下さい。ジョイントカバーが回らないように付属の鎖を機械に引っかけて下さい。ユニバーサルジョイントはトラクタにより異なりますので適正な長さに切って下さい。
- 3, トラクタのチェックチェーンを、左右均等に張って下さい。
- 4, スピンナーとディスク面が地上 60~70cm の時にスピナーの傾きが $\pm 3^\circ$  以内に入るようにトップリンクで調整して下さい。

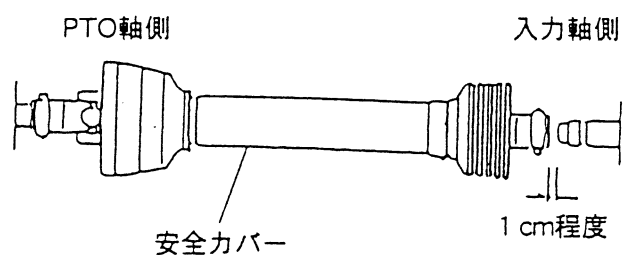
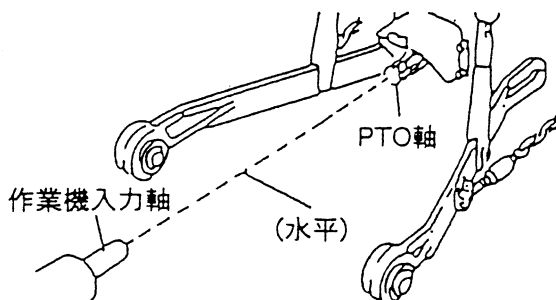


## ◆ユニバーサルジョイントの切断方法

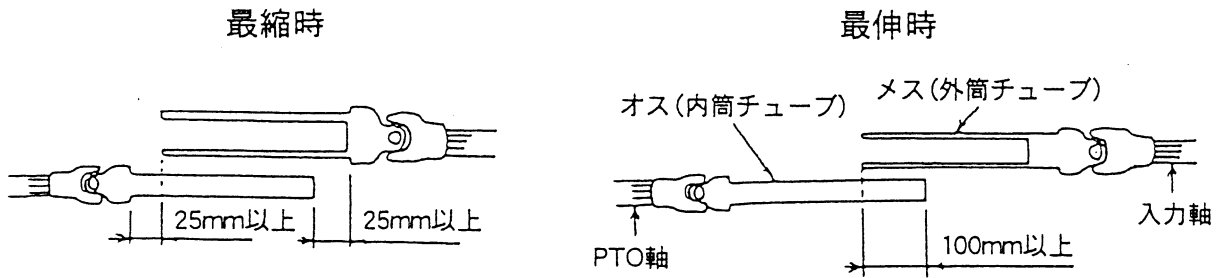
ユニバーサルジョイント(以下ジョイント)の長さは、必ず適正長さの範囲内で使用してください。短すぎるとジョイントが抜けて思わぬ事故につながり、長すぎると機械を破損してしまいます。短い場合は交換し、長い場合は切断し使用してください。

## ◎適正長さの確認

トラクタPTO軸と作業機の入力軸が水平で一直線上にある時、ジョイントが一番短くなる時です。この時に1cm程度スキマがあればそのまま使用できます。

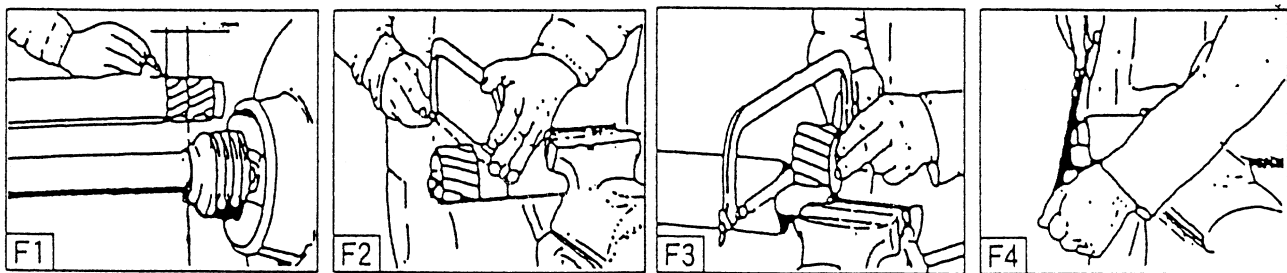


また、ジョイントのオス・メスを外してそれぞれPTO軸と入力軸を取り付け、水平で一直線上にあたる時（最縮時）に下図のスキマが25mm以上あり、作業機を上下させてジョイントが1番伸びた時（最伸時）にオス・メスの重なりが100mm以上あると適性長さの範囲です。



## ◎切断方法

1. ジョイントのオス・メスを外してトラクタと作業機の最短の作業位置に合わせ、相手側の安全カバーの筒の端から、25mmスキマがあく位置にオス・メスの安全カバーにそれぞれマークをつけて下さい。
  2. オス・メスの安全カバーにマークをした長さだけ安全カバーを切断してください。
  3. オス・メスの内外筒チューブを、安全カバーを切断した部分と同じ長さだけ切断してください。
- ※ 切断後は切り口にヤスリをかけ、バリを除きスムーズにスライドできるようにしてください。

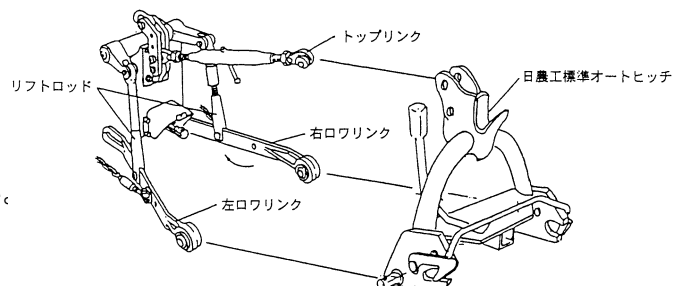


## ○ トラクタへの装着順序(オートヒッチ仕様の場合)

**⚠ 危険** オートヒッチ及びジョイントを取付けする時は、必ずエンジンを切ってください。  
エンジンがかかったまま作業すると巻き込まれ死傷事故を起こす恐れがあります。

### ① トラクタへオートヒッチを取り付けてください。

- ※ トラクタ及びオートヒッチの取扱説明書をよく読み、正しく取り付けてください。
- ※ 固定ピンがロックされていることを確認してください。

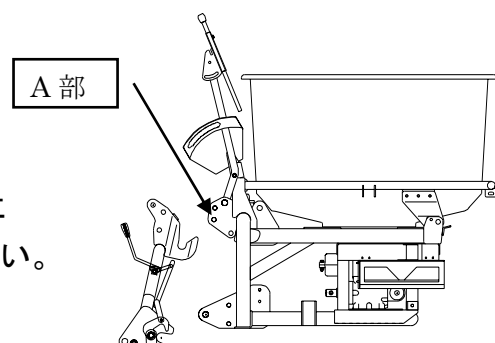


### ② トラクタの油圧によりトップリンク部のフックを

作業機のA部に引掛け、吊り上げて下さい。

自動的にロワリンクも結合します。この時スタンドを立てておかないと装着できません。

※3点を持ち上げた時にシャッターレバーがキャビン等に干渉する場合があるので、持ち上げ時は注意して下さい。



干渉する場合は、上げ規制をして下さい。

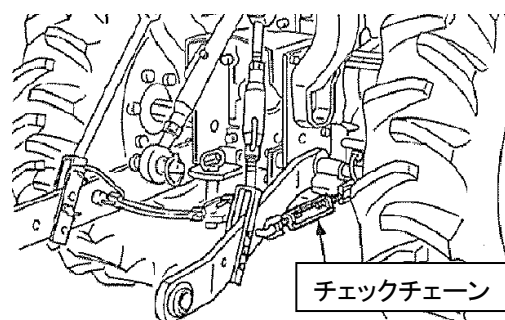
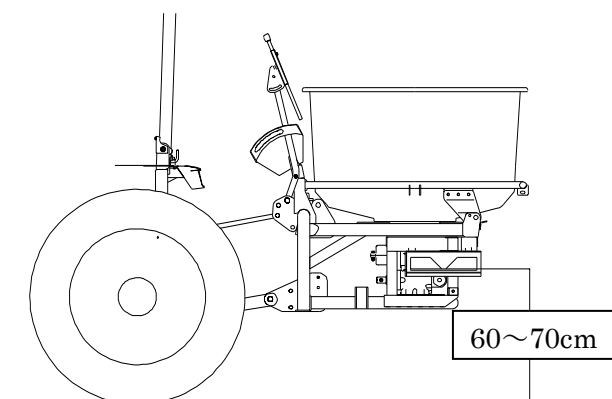
オートヒッチのロックをして下さい。

③ オートヒッチには予めユニバーサルジョイントが付属しています。ジョイントカバーに付属しているチェーンをトラクタと作業機に固定して、ジョイントカバーが回らないようにして下さい。

④ 本機の作業に適した姿勢に調整してください。スピナーの地上高を 60~70cm にして作業して下さい。

⑤ トラクタのチェックチェーンを左右均等に張って下さい。

⑥ 移動時や作業時はスタンドを外して下さい。



### 警告

適応範囲内のトラクタで使用して下さい。適応範囲内のトラクタでも、発進時、登坂時に前が浮き上がる場合には、必ずフロントウエイトを装着して下さい。思わぬ事故を起こす恐れがあります。

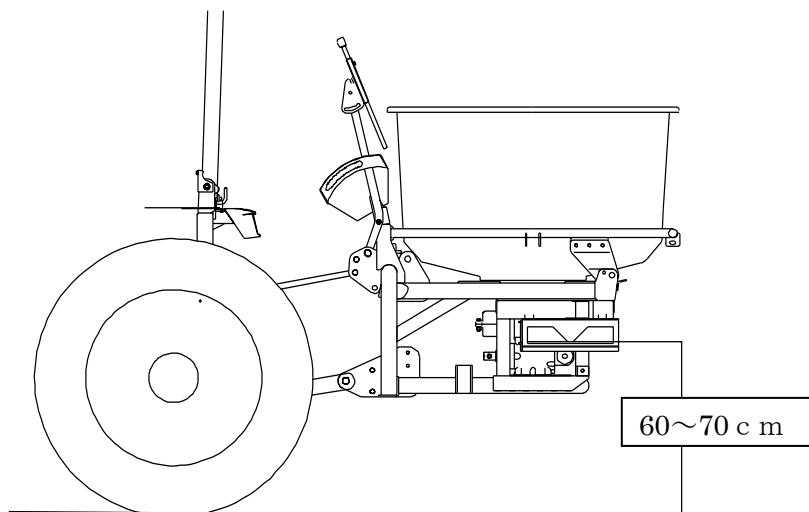


## 作業前の点検・調整

作業前に次の点検・調整を行って下さい。これは、事故や故障の防止、耐用年数の増大の為に常に行う習慣をつけて下さい。

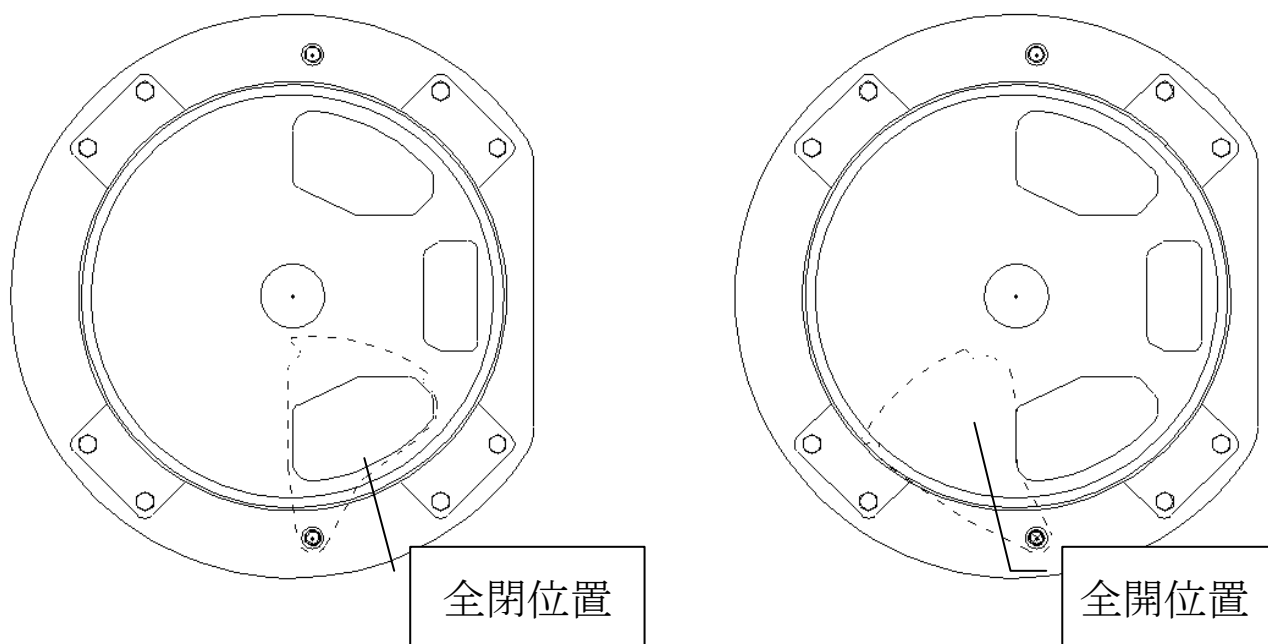
### 1, フレームの調整

スピナーの地上高が 60~70cmの状態で作業して下さい。この時のスピナーの傾きが $\pm 3^\circ$  の範囲内にあることを確認して下さい。



### 2, シャッターの調整

開度0にシャッターレバーを合わせた時に、シャッターが完全に閉じるようにシャッターロッドの長さを調整して下さい。この状態で開度20にした時、完全に開いていることを確認して下さい。また、左右のシャッターが対称に開いていることを確認して下さい。

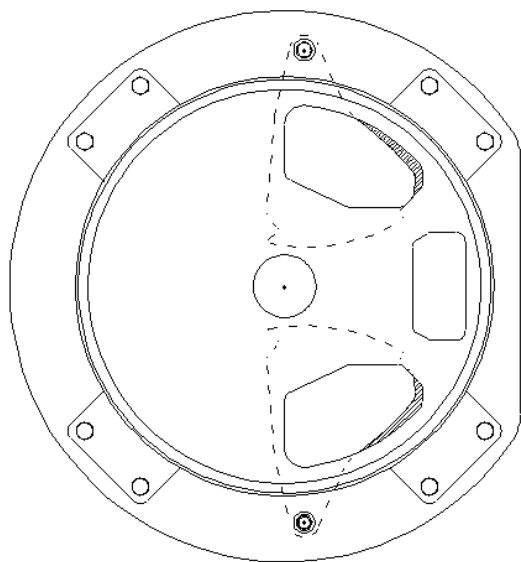


## ○シャッターの調整方法

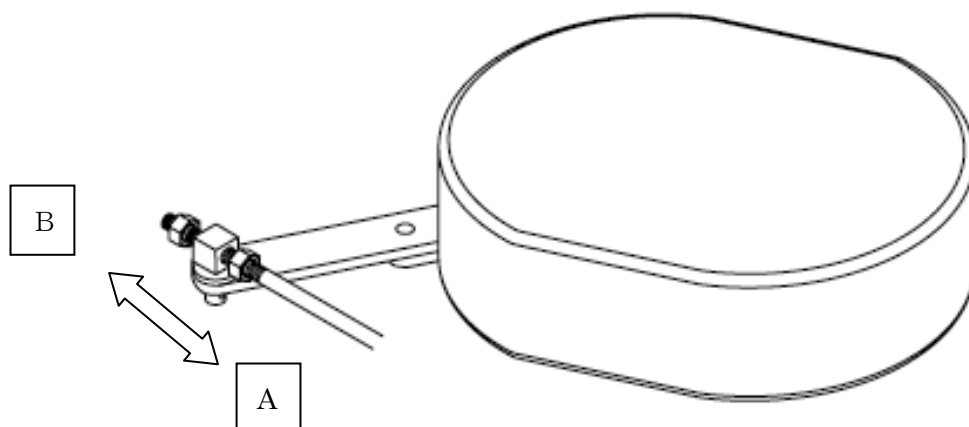
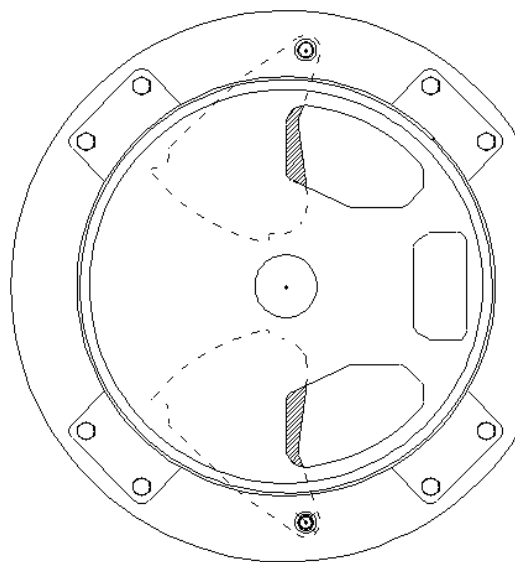
- ・ シャッター開度を「0」の設定に合わせます。
- ・ シャッターロッドを前後に動かしシャッターが完全に閉じていることを確認します。
- ・ シャッターを「0」～「20」まで2, 3回動かし「0」で止めて下さい。  
この時シャッターが全閉になっていれば調整終了です。

※シャッターが開度「0」でシャッターとシャッターアッパーに隙間がある場合、または、シャッター開度「20」で(全開時)シャッターが完全に開ききらない場合は次のように調整して下さい。

□開度「0」で隙間がある場合…  
ジョイント金具をAの方向に移動させる。



□開度「20」で開ききらない場合…  
ジョイント金具をBの方向に移動させる。



シャッターの調整時、リモコンを使用しますが、使用方法については、 27 ページの『無線リモコンシャッター』を参照ください。

### 3, 散布量の調整

砂状肥料散布はシャッター開度「5」まで、粒状肥料散布はシャッター開度「7」まで粉状肥料散布はシャッター開度「11」まで、「12」以上は袋詰有機肥料(乾燥ケイフン等)ですので粒状、砂状、粉状では使用しないで下さい。各シャッター開度散布量は、次の表を目安に調整して下さい。

シャッター開度目盛と散布量 kg/10a		PTO回転数540rpm																					
肥料の種類	車速 (km/h)	散布巾 (m)	シャッター開度																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
ケイフン (有機肥料)	4	6~8	5	15	40	65	95	110	140	165	190	215	225	245	255	270	285	295	310	325	335	350	
粉状物	4	4~6	1	5	15	25	35	40	75	150	180	225	260										
粒状物	4	10~12	25	60	130	210	295	360	430														
砂状物	4	5~7	10	110	225	355	455																

●粉状肥料は開度「11」まで  
●粒状肥料は開度「7」まで  
●砂状肥料は開度「5」まで

CMタイプ(450L・600L) A6W-061300-0 ※上記は凡その目安としてご利用ください。

#### ○散布量確認テストの方法について

最適な散布作業のために散布作業前に散布量の確認を下記要領で実施して下さい。

例:有機肥料(ケイフン等)を10a当たり200kg散布する。

散布条件を散布巾7m、車速4km/hとした場合、圃場(10a)の散布に要する時間は下記のようになります。

$$\frac{1000\text{m}^2(10\text{a})}{7\text{m} \times 4\text{km/h}} = \frac{1000\text{m}^2}{7\text{m} \times 4000\text{m}} \times 60\text{分} = 2.14\text{分} = 128\text{秒}$$

以上より、作業時間(128秒)が計算にて求まります。次に、実際、肥料がシャッターから出る時間を下記手順にて測定します。

- ① 散布したい量の開度目盛または、近似している量の少ない方の開度目盛りにシャッターを合せストッパーを固定します。(例では200kgなので、開度「9」の目盛に合せます。)
- ② 散布部をはずす。
- ③ 本体の下にバケットを置く。
- ④ ホッパーに散布したい量の肥料(200kg)を入れる。
- ⑤ トラクタのエンジンを始動させ、PTO回転数を約540回転にする。
- ⑥ シャッターを開け、吐出時間を測定する。

測定の結果、肥料が全部なくなるまでの吐出時間は約128秒になります。このことにより散布したい量を正確に散布できます。また、肥料の粒の大きさ等により吐出時間が多少異なります。その場合、約128秒で吐出された肥料の量(kg)が10aの圃場に散布される肥料の量ですので注意してください。

## ○ 散布量と車速の決め方

例:10a当たり、粒状肥料を100kg散布したい場合、散布表より粒状の項の100kgより小さい値(60kg/10a)のシャッター目盛 2 に合わせます。

(大きい値の 130kg/10a、シャッター目盛『3』でも構いません。その際は、車速が5. 2km/hになります。)

$$\text{車速} = \frac{4(\text{km/h}) \times 60(\text{kg}/10\text{a})}{100(\text{kg}/10\text{a})} = 2.4(\text{km/h})$$

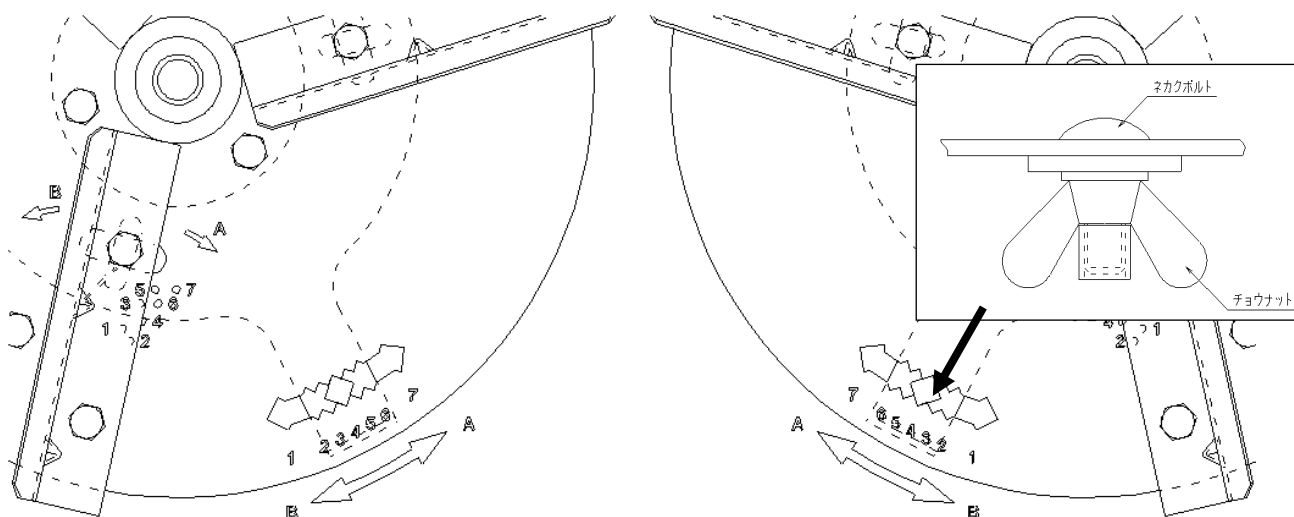
- ◎ 60 kg/10a……………散布表より
- ◎ 4 km/h……………開度2で60kg散布する時の車速
- ◎100 kg/10a……………10a当たり散布したい量

## 4.散布部の調整

散布する肥料に合わせてブレードの角度を調整して下さい。工場出荷時のブレード位置は「4」(粒状散布の位置)の所になっています。

### ○ブレードの調整方法

肥料の種類、及び散布状態に応じて、ブレード取付位置「1～7」を調整して下さい。



- ① 角ボルトを締め付けているチョウナットをゆるめて下さい。
- ② 根角ボルトを軽く持ち上げレバーをスライドさせて下さい。
- ③ 任意の位置に設定できたら根角ボルトを角穴に入れ、ゆるめたチョウナットをしっかりと締めつけてください。

最後に、ブレード取付位置を調整後、散布の状態を確認し、肥料が真ん中に寄る場合はレバーをAの方向、肥料が左右に片寄る場合は、レバーをBの方向にスライドさせてください。

(肥料とブレードの位置関係)

「1～2」……………砂状、粉状肥料

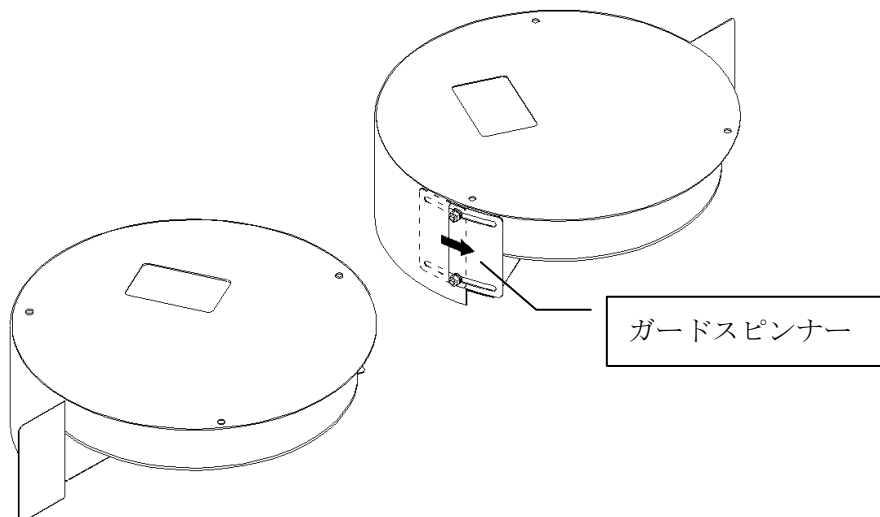
「6～7」……………有機肥料(ペレット状)

「3～5」……………粒状肥料

「2～4」……………有機肥料

**⚠ 注意** レバーをスライドさせる際、手をケガする恐れがありますので、手袋などの保護具を着用してから行って下さい。

※粉状肥料散布の場合、ガードスピナーを引き出して散布作業をして下さい。また、肥料が真ん中による場合にも、ガードスピナーを調整することにより左右に散布することが可能です。



### ○散布肥料について

・粒状、砂状、(粉状)、有機肥料(市販されている袋詰めのもの、水分 30%未満)が散布可能な肥料です。

## 5,肥料を混合する場合

- ① シャッター開度を「0」の位置にして、ストッパーシャッターレバーを固定して下さい。
- ② 混合する肥料をホッパーに入れます。
- ③ トラクタのエンジンを始動させ 3 点リンクを持ち上げ本機を作業位置にします。
- ④ 周囲の安全を確認してから静かにPTOクラッチをつないで下さい。PTOクラッチをつなぐときは、エンジン回転数を必ず下げてからつなぎ、徐々に回転数を上げ、500～1000 回転で混合作業を行って下さい。

⑤ 混合に要する時間は以下の通りです。

・ 粒 状	×	粒 状	約 3 分	◎	◎:最も適する
・ 粒 状	×	砂 状	—	△	○:適する
・ 粒 状	×	粉 状	—	△	△:良く混合できない
・ 有機肥料(ケイフン)	×	粒 状	約 4 分	○	
・ 有機肥料(ケイフン)	×	砂 状	—	△	
・ 有機肥料(ケイフン)	×	粉 状	約 4 分	○	

※肥料の粒子が異なるものは良く混合できず、また、散布状態も均一にならない場合があります。

⑥ 混合後の散布は、混合する比率の一番高い肥料に合わせてブレードの角度を調整して下さい。

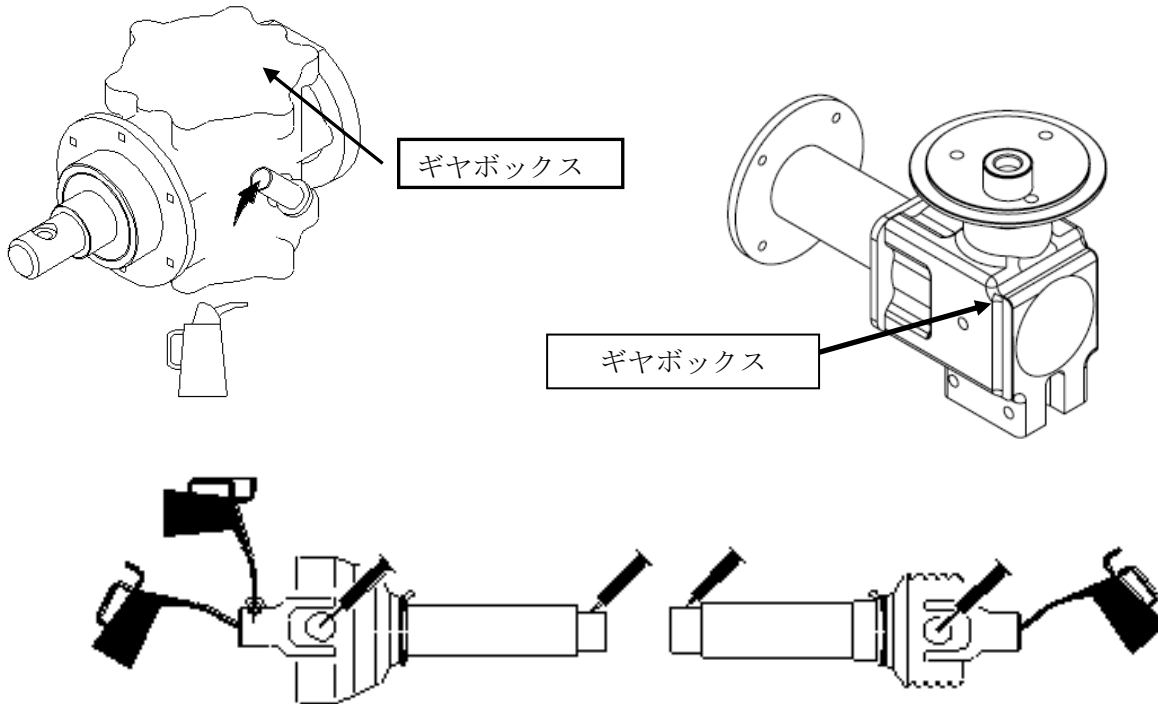
**⚠ 注意** 肥料混合の際は、PTO回転数を上げ過ぎたり、長時間回転させたままにしておくと肥料が詰まって固まったり、粒状肥料などは粉状になりますので注意して下さい。

**⚠ 危険** 肥料をホッパーに入れる際は、危険ですので必ずエンジンを止めてから行って下さい。

## 6,給油

下図の部位にギヤオイルを給油して下さい。

給油箇所	オイルの種類	給油時期	備考
ギヤボックス	#80 ギヤオイル または、#90ギヤオイル	30hr毎	全量交換 0.6ℓ
ユニバーサルジョイント	#90ギヤオイル (#80) グリース	作業前	適量



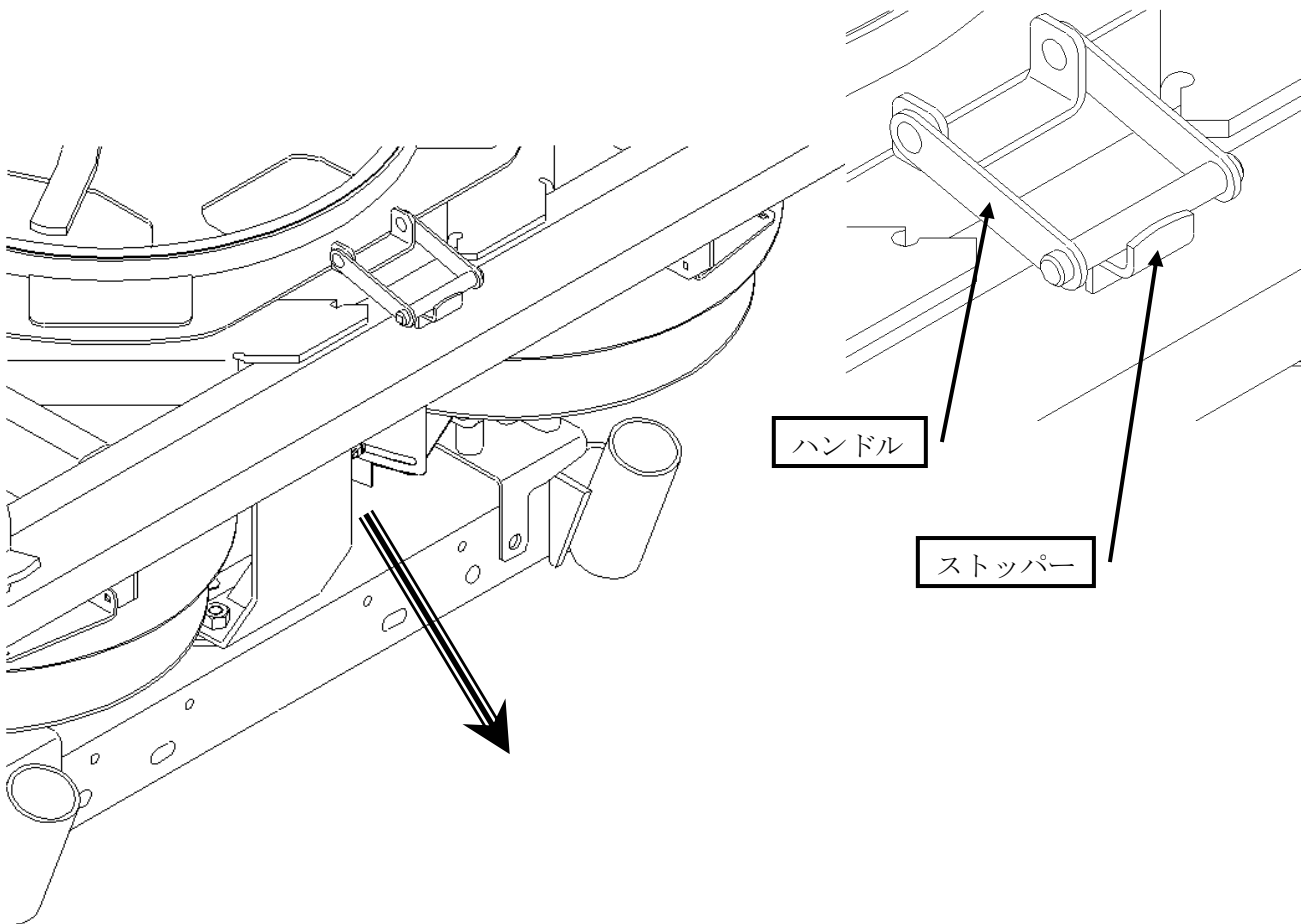
## 7,シャーボルトの点検

散布作業中にスピナーカバーとブレードの間に異物が混入した場合に、シャーボルトが切れる場合があります。そのときは上図のボルトとナットを交換して下さい。

## 混合物の取り出し方法

- (1) 吐出口の下にバケツ等を置き、混合物を取り出せる準備をします。
- (2) PTOを回転させ混合作業を開始します。
- (3) 混合状態を確認し、良く混合できていればエンジン回転数を下げアイドル状態でアジテータを回転させて下さい。
- (4) 吐出シャッターのレバーを外し吐出シャッターを引き出します。
- (5) 取り出した後は、確実にシャッターを締め、レバーをストッパーにはめ込んで下さい。

- ⚠ 危険**
- ・混合状態を確認する際は、ホッパー内に手を入れないでくださいケガをする恐れがあります。
  - ・吐出口付近は、スピナーディスクが回転していますので手など絶対近づけないでください。巻き込まれてケガをする恐れがあります。



## 散布作業方法

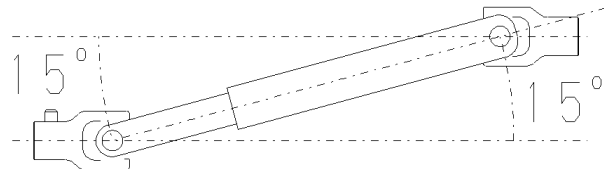
- ① ホッパーに散布物を入れ、散布量に合わせてシャッターストッパーの位置を設定して下さい。
- ② トラクタ油圧にて本機を作業位置にした後、付近に人、家畜がいないことを確認してから静かにPTOクラッチを入れて下さい。
- ③ PTO回転数が540rpmに上がってからシャッターを開き、散布作業に入して下さい。
- ④ 作業速度は2～6km/hの範囲を守って下さい。
- ⑤ 作業中、異音等が発生した場合は、直ちにPTOクラッチを切り、エンジンを停止して作業を中止して下さい。原因を取り除き安全を確認してから作業を再開して下さい。

### 警告

- ① 本機を装着すると前後バランスが変わります。発進時、登坂時に前が浮き上がる場合には転倒などの事故を起こす恐れがあるのでフロントウエイトを装着して下さい。
- ② 作業中以外は、PTOを切して下さい。
- ③ 作業中は作業機に人を近づかないで下さい。特に子供には気をつけて下さい。
- ④ エンジン作業機を降ろしてから停止して下さい。エンジン始動時に急に下がり事故を起こす恐れがあります。
- ⑤ 圃場から出る時に前が浮き上がる場合、転倒事故につながります。無理せずバックで出て下さい。その後フロントウエイトを装着して作業して下さい。

### 注意

- ① PTO回転数を540rpm以上に上げると、異常な振動の発生あるいは、本機の破損につながりますので絶対に上げないで下さい。
- ② ユニバーサルジョイントの角度を15°以上で使うと振動や異音等の発生あるいは、本機の破損につながるため注意して下さい。



- ③ ホッパー内に散布物を入れたまま散布しないで長時間走行すると散布物がホッパー内で固まり作業できなくなる場合があります。故障の原因となりますので肥料は散布する場所まで運んでからホッパーに入れて下さい。
- ④ PTOは混合または、散布する時のみ回転させて下さい。シャッターを閉じたままPTOを長時間回転させると散布物が固まり、アジテータが動かなくなります。
- ⑤ 被覆肥料は強い衝撃で被膜が一部破損し溶出する恐れがあります。被覆肥料を散布する場合は、次の点にご留意下さい。
  - 1) アジテータを取り外す。
  - 2) シャッター開度を大きく開き作業速度を速める。
  - 3) 肥料の扱いに注意し、ホッパーには現地で投入する。被覆肥料以外の肥料を散布する時は、必ずアジテータを取り付けて下さい。アジテータがないことにより均一に散布されない場合があります。



## ○安全カバー

安全カバーは、オペレーター保護の為に必ず装着して下さい。

## ○移動方法

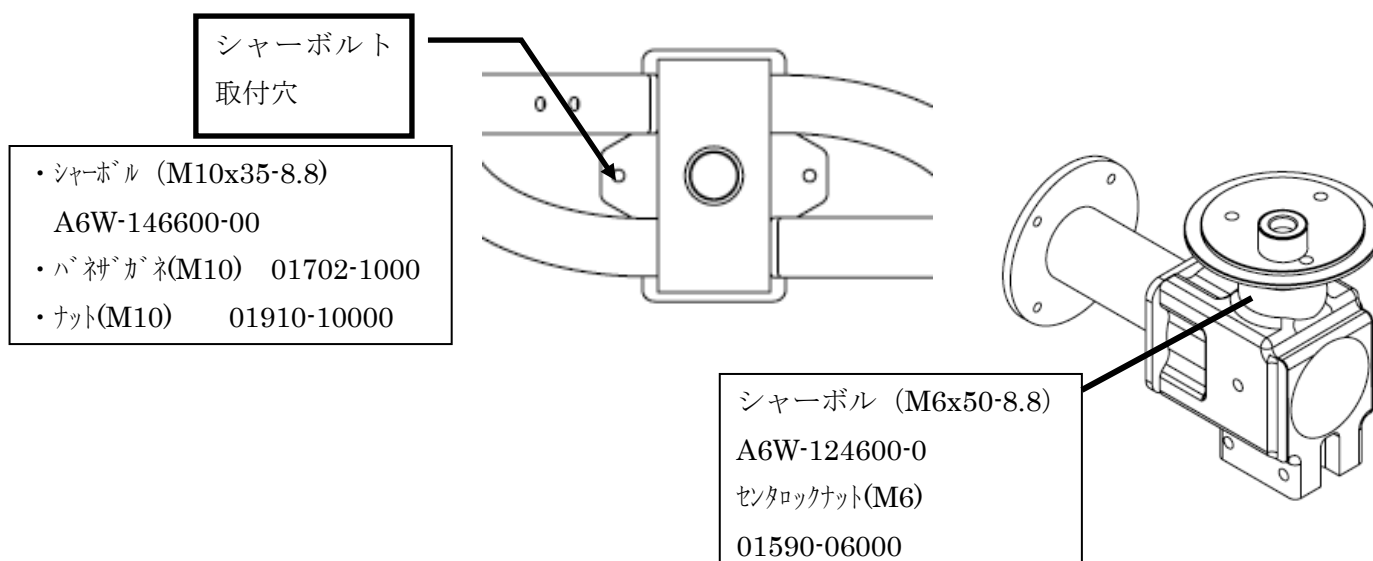
### ⚠ 注意

PTOクラッチを必ず切り、ホッパー内に肥料を入れての移動は絶対しないで下さい。

### ●安全装置

ホッパー内に異物が混入したり、肥料が固まったりした場合などには、ミッションに過負荷がかかりボルト(M10×35-8.8)が切れる場合があります。その時は負荷の原因を取り除いてから付属のボルトと交換して下さい。※必ず専用の部品を使用してください。

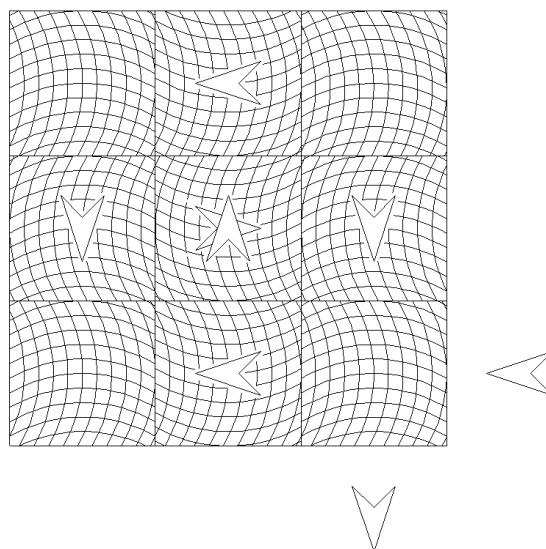
ボルトが切れた場合は、右図アジテータA部に切れたボルトが落ちますので取り除いてからボルトを交換して下さい。



## ◎散布作業

### 1, 初めて作業される方の散布要領

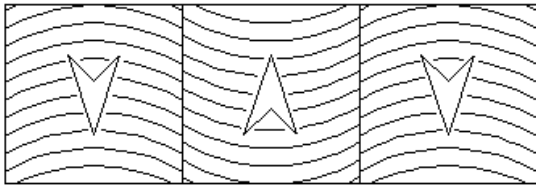
初めて散布作業をされる方は風のない時に作業をし、この際散布したい量の半分の量を2回に分けて重複散布します。(60kg/10aなら30kgずつ散布します。)有効散布幅で1回目は縦に、2回目は横に散布します。十文字に散布することにより散布ムラを少なくすることができます。



## 2, 風の少ない時の散布要領

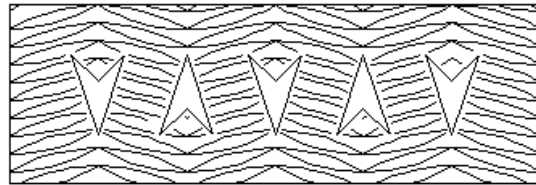
### ① 1回散布

有効散布幅をトラクタの走行間隔にする方法で、所定の散布量でのシャッター開度での散布です。能率が上がり経済的な方法の為熟練した方におすすめします。



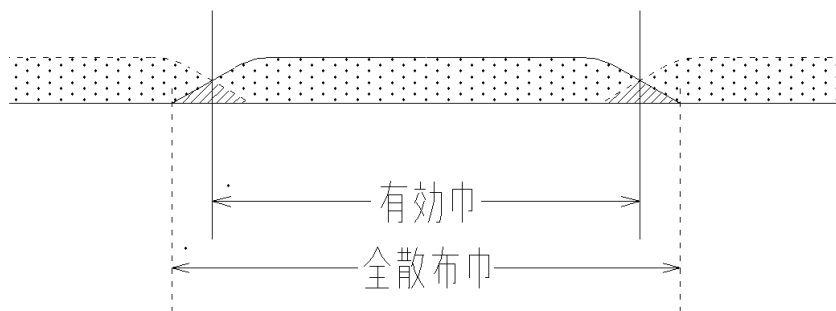
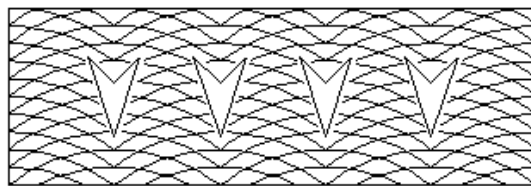
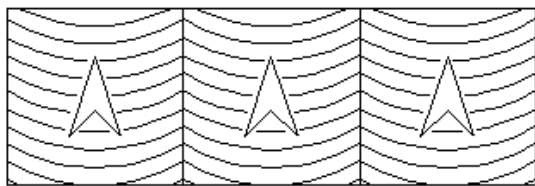
### ② 2回散布

有効散布幅の半分の間隔でトラクタを走行させ、重複散布する方法です。この場合は、シャッター開度目盛は、散布したい量の分量に合わせます。往復走行でも差し支えありません。



## 3, 風が少しある時の散布

風が少しある時は、散布作業は避けたほうがよいのですが、やむを得ず散布しなければならない場合、できるだけ風に向かって作業をして下さい。散布ムラを最小にとどめ、オペレーターに肥料がかからないようにするためです。この場合も、1回散布・2回散布の方法がありますがいずれも風に向かって散布し、往復散布はしないで下さい。



## 保守管理

### 1, 作業シーズン中の保守管理

- ① 作業終了後は本機をよく清掃し各部に給油をして下さい。
- ② ボルト・ナット類の緩み、ピン類の脱落がないか点検して下さい。

### 2, 作業シーズン終了後の保守管理

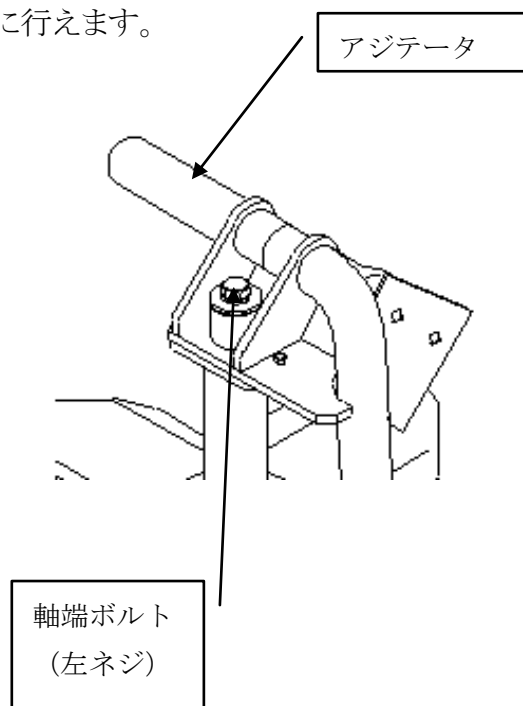
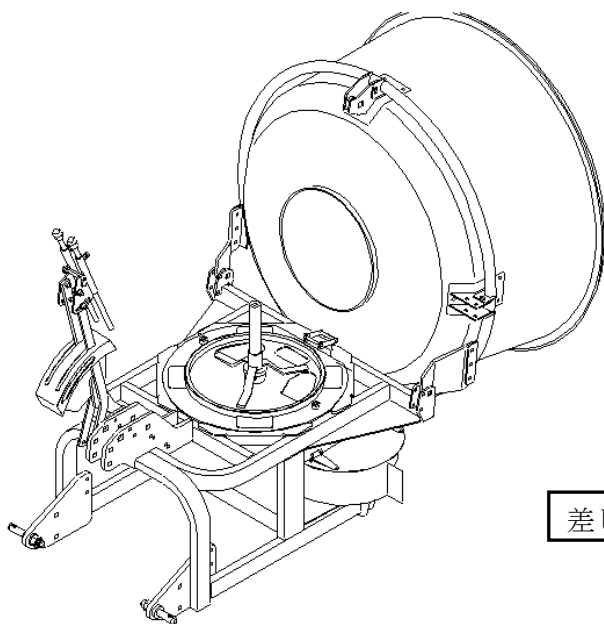
- ① 各部の清掃を完全に行い、特にシャッター回りの清掃を入念に行い、給油箇所全てに給油して下さい。
- ② 各部を点検し損傷した部分があれば早めに修理又は、部品交換して下さい。
- ③ 格納する場合は、スタンドをたて湿気やホコリのない場所に安定させて下さい。

### ○ シャッター回りの清掃方法について

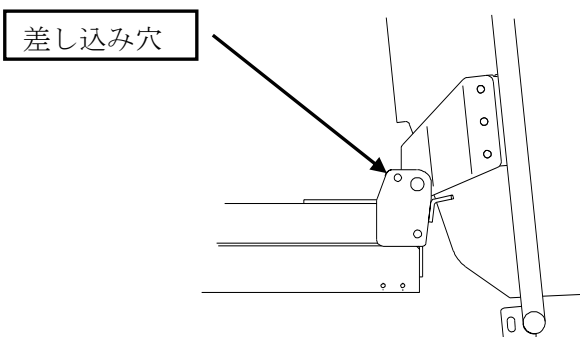
ホッパーを反転させることによりシャッター回りの清掃が簡単に行えます。

#### 反転方法

- ① アジテータの軸端ボルトを外します。  
左ネジですので回転方向に注意して下さい。
- ② ホッパー連結ピンを抜きホッパーを起こします。



- ③ ストッパーとして図の位置にパイプロックピンを差し込みます。



**⚠ 危険** ストッパーピンを確実に差し込んで下さい。清掃作業中ホッパーが倒れてきて挟まる恐れがあります。

## 主要諸元

型式	CM451WD	CM451WD -0S	CM451WD -3S	CM451WD -4S	CM451WD -0L	CM451WD -3L	CM451WD -4L
全長 (mm)	1290						
全幅 (mm)	1100						
全高 (mm)	1260						
重量 (kg)	252	256	276	276	260	290	290
散布幅 (m)	9～11 (粒状肥料)						
作業速度(km/h)	4～8						
作業能率(分/1ha)	10～30						
適応トラクタ(kw)	29.4～51.5						
(ps)	40～70						
型式	CM601WD	CM601WD -0S	CM601WD -3S	CM601WD -4S	CM601WD -0L	CM601WD -3L	CM601WD -4L
全長 (mm)	1300						
全幅 (mm)	1120						
全高 (mm)	1370						
重量 (kg)	257	261	281	281	265	295	295
散布幅 (m)	10～12 (粒状肥料)						
作業速度(km/h)	4～8						
作業能率(分/1ha)	10～30						
適応トラクタ(kw)	33.1～						
(ps)	50～						

◎ 本仕様は改良の為予告なく変更することがあります。

※電動リモコンシャッターについては 無線電動リモコンシャッターDR20-D,DR20-DW  
取扱説明書を参照下さい。

## 無線リモコンシャッターについて

### 1、リモコンシャッターの散布タイプ

※出荷初期状態はこの開度設定タイプです。

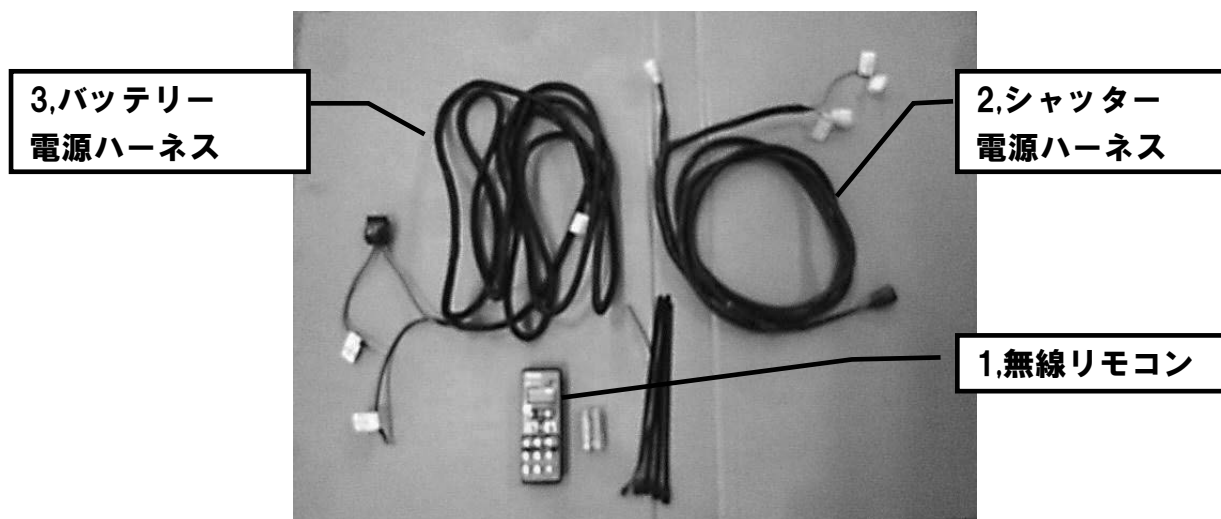
シャッター開き量の段数(開度)を設定し、シャッターの開閉を行います。

施肥機それぞれに散布量とシャッター開度を対応させた散布表が貼られていますのでシャッター設定し散布作業を行ってください。

### 2、梱包品の確認と各部の名称と働き

#### ⚠ 注意

・コントローラーは精密電子機器が入っていますので絶対に開けたりしないでください。



#### 梱包内部品

- 1、無線リモコン・・・シャッターを動作させるリモコンです。
- 2、シャッター電源ハーネス・・・作業機側シャッター部へ電源を供給します。
- 3、バッテリー電源ハーネス・・・トラクターバッテリーからの電源線です。

付属品 取扱説明書、ハーネス結束用バンド、リモコン用電池(単三2本)、ストラップ

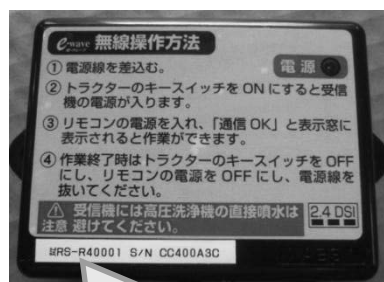
### 3、リモコンと受信機のペア確認

#### リモコン裏側



リモコンシリアル番

#### 作業機側シャッター部受信機



受信機シリアル番号

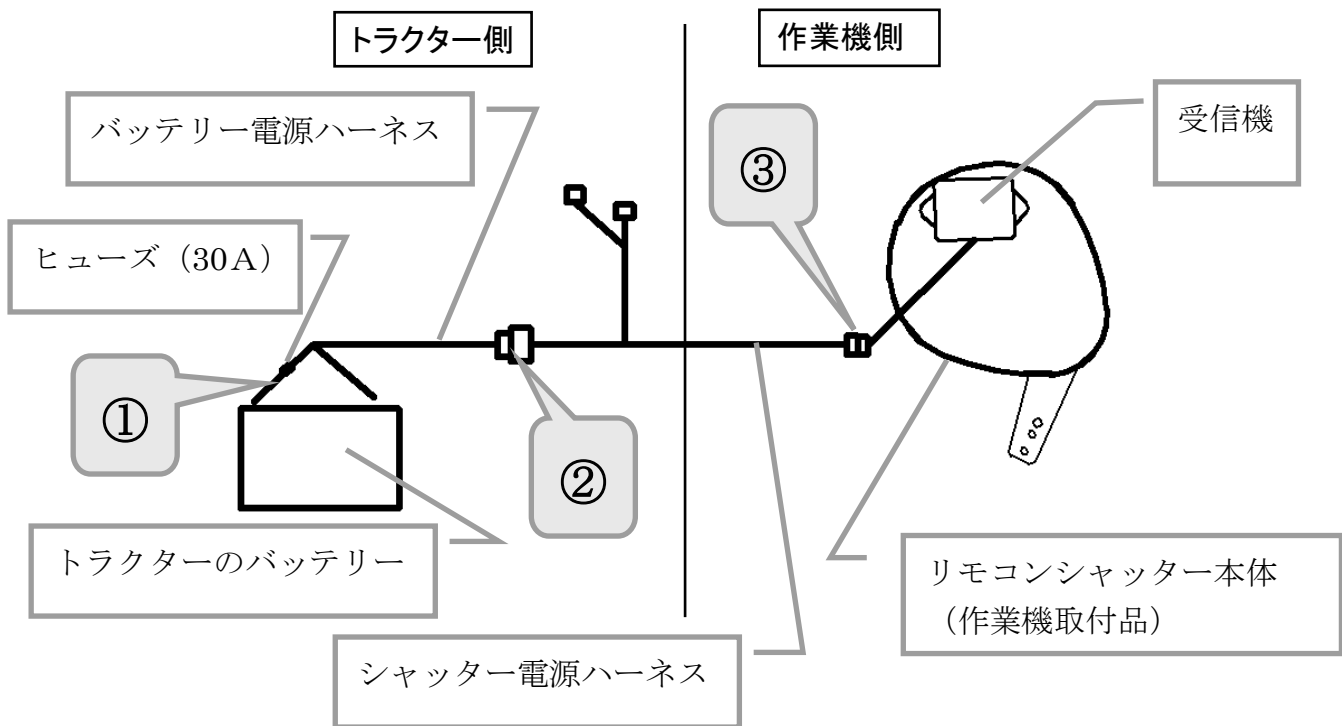
・リモコンと受信機のシリアル番号が同じ番号であればペアです。違う番号の物では動作しません。

## 4、取付接続方法

### ⚠ 注意

- ・ 本製品の作動電源はバッテリーDC12Vです。その他の電源に接続すると破損します。
- ・ バッテリー電圧が不足していると作動しない場合があります。充電はしっかりと行ってください。
- ・ バッテリーの+と-を必ず確認してから接続してください。誤って接続すると電子部品の故障の原因になりますので注意してください。
- ・ 本製品の所要電流は 10~20 アンペアです。
- ・ コネクターの差し方は差し込める位置が限定されています、形状を良く見てカチッと音が鳴るまで差し込んでください。

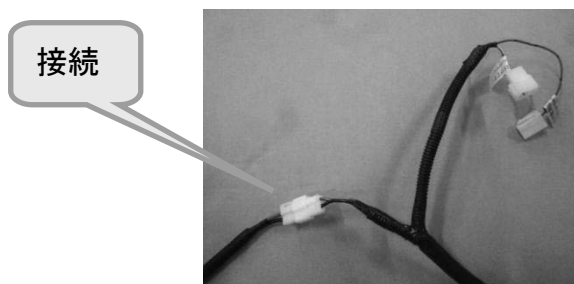
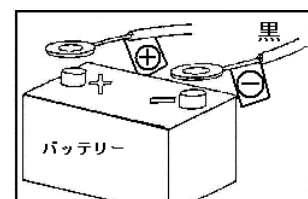
※下図の番号の順に各コネクターを接続してください。



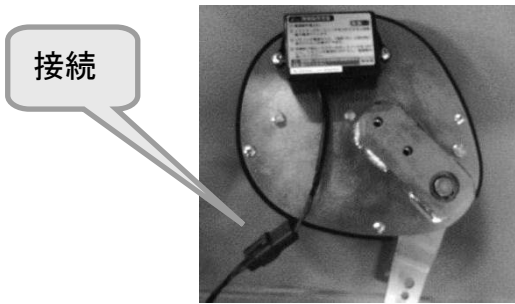
①バッテリー電源ハーネスとトラクターのバッテリーを接続してください。  
(+と表示されているコードを+へ-と表示されているコードを-へそれぞれ接続してください。)

※トラクターのバッテリー以外には接続しないでください

②バッテリー電源ハーネスとシャッター電源ハーネスを接続してください。



③シャッター電源ハーネスと受信機を接続してください。

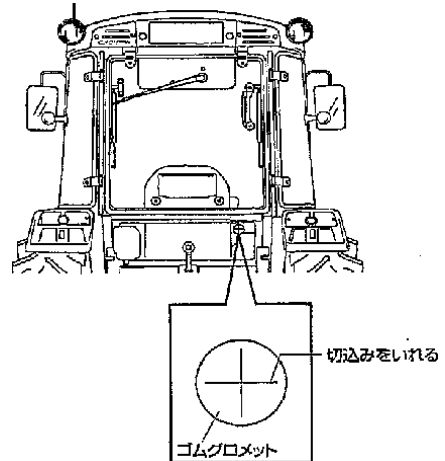


### 重要

・シャッター電源ハーネスをトラクターキャビンから出す場合、キャビン後のゴムグロメットにカッターナイフで切込みを入れ、ハーネスは必ずゴムグロメットを介して通してください。

### 注意

- ・ゴムグロメットを外して通すと、ハーネスに傷がつき思わぬ事故をおこす恐れがあります。



配線接続が終了したら、付属のバンドで配線を固定してください。

## 5、電源の入れ方

### 1)リモコンに電池を入れる

### 注意

- ・濡れた手で行わないでください。基盤破損の原因になります。
- ・電池の+と-の極性を確かめてから入れてください。間違えると電源がオンできません。

①電池フタのネジを+ドライバーを使って緩める。2本あります。



②電池を入れフタを閉じ、ネジを+ドライバーを使って締める。



## 重要

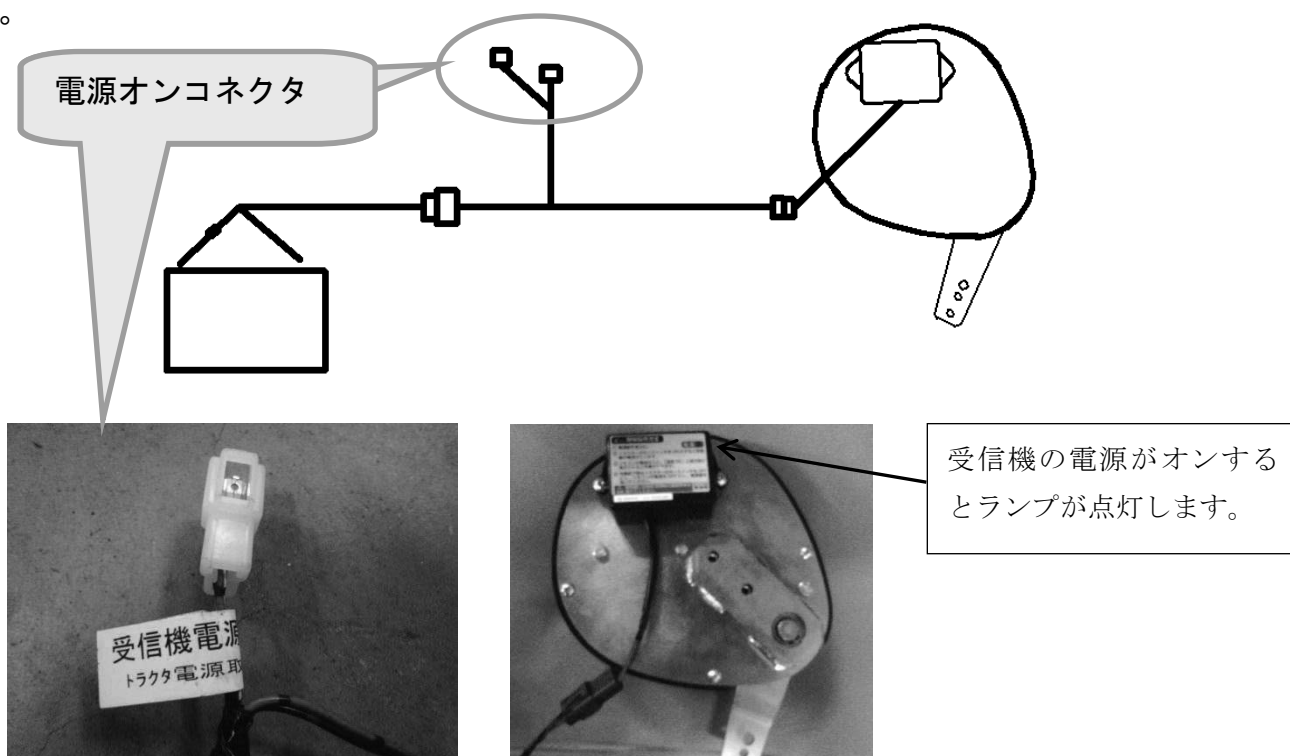
### 電池交換

- 電池は以下のことに気をつけて、使用してください。
  - 1) 新しいものと古いものとの組合せをしない。
  - 2) 種類のちがうものを入れない。
- 液漏れ、破裂を起こすおそれがあり、故障やケガの原因になります。液漏れの液が体に付着したときは、きれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、こすらずにきれいな水で洗い流したあと、すぐに医師へ相談し処置してください。
- 濡れた手で交換作業は行わないでください。基盤破損の原因になります。
- 電池の極性を間違えて装着しても故障はしませんが、電源が入りません。再度、確認し装着し直してください。
- 電池フタを開けた場合は、ネジをしっかりと締めてください。緩んでいる状態ですと、防水効果が、損なわれます。
- リモコンを水の中に落とした場合や、水がかかった場合は、電池フタを開け、内部を確認し、水が入っていたら拭きとってください。電池フタ、パッキンの破損、変形、キズがあった場合は、交換してください。水やホコリが入り故障の原因になります。

#### 2) 施肥機側リモコンシャッター本体の受信機に電源を入れる。


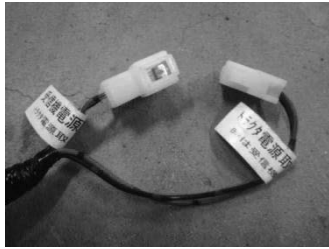
リモコンと受信機は必ずペアの物を使用してください。別の受信機や別のリモコンだと動作しません。

1、トラクターに電源取り出しがある場合は下図の電源オンコネクタを電源取り出しへ差し込んでください。トラクターの電源オン、オフに連動して受信機の電源がオン、オフを行う事ができます。





- 2、トラクターに電源取り出しが無い場合は下図の様に接続してください。  
電源オン、オフは手動になります。トラクターとは連動しません。

電源オン	電源オフ
コネクターを差し込む。 	コネクターを抜く。 

- 3、リモコンの電源をオンする前に、必ず受信機の電源をオンしてください。  
受信機の電源がオフで、リモコンの電源をオンすると

**受信機ON?**

右の表示になります。

3)リモコンの電源を入れる。



電源スイッチを押して電源オン、もう一回押して電源オフ。

**受信機ON?**

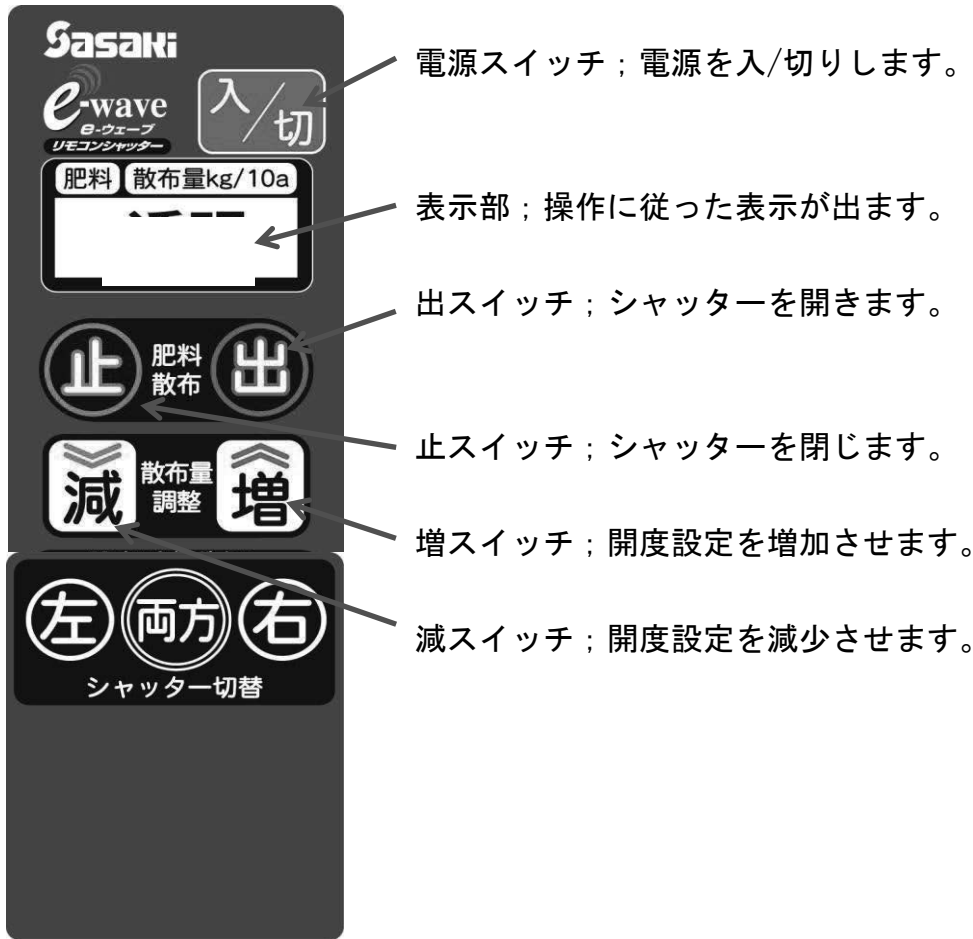
右の表示の場合は、下表を参考し再度電源オンしてください。

①受信機がオンされていない。 ・受信機電源をオンしてからリモコン電源をオンする。	②無線電波が届いていない。 ・リモコンを施肥機に向けて操作する。 ・受信機電源を再度オンして、リモコン電源も再度オンしてください、電波良好チャンネルを自動選局します。	③リモコンと受信機がペアでない ・ペアの物を使用する ・リモコンを部品で購入時はペアリング作業が必要です。購入の販売店へ連絡してください。
---	---	---

## 6、リモコンの操作方法

### ①開度設定タイプ ※出荷初期状態はこの開度設定タイプです。

#### 1) リモコンスイッチの説明



#### 2) リモコン操作方法と表示

① 電源スイッチを押す。	② 増、減スイッチを押して設定したいシャッター開度に合わせる。	③ 出スイッチを押すと、シャッターが開く。	④ 止スイッチを押すとシャッターが閉じる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>開度設定 ■■■</b>  <b>シャッタ</b> </div> <p>■■■は電池残量です。 □□□の時は電池交換してください。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>開度 05 停止</b> </div> <p>・増を押すと開度が1つ増えます。 ・減を押すと開度が1つ減ります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>開度 05 散布</b> </div> <p>散布に変わりシャッターが開きます。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>開度 06 停止</b> </div> <p>現在の開度を記憶します。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>シャッタ開です 止押し</b> </div> <p>シャッターが開いていると表示します、止スイッチを押すと閉じます。</p>	<p>シャッター開度調整 0~20段階</p>	<p>散布中でも増、減を押すとシャッター開度を変える事ができます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>開度 06 散布</b> </div>	

### 3) 施肥機 CM451, 601 の左右シャッター切替

CM451, 601 ではリモコンシャッターが左用と右用の2つ設定されています。

左右シャッター開閉の切替が可能です。

※シャッターが閉じている時に切替選択できます。散布中は操作できません。

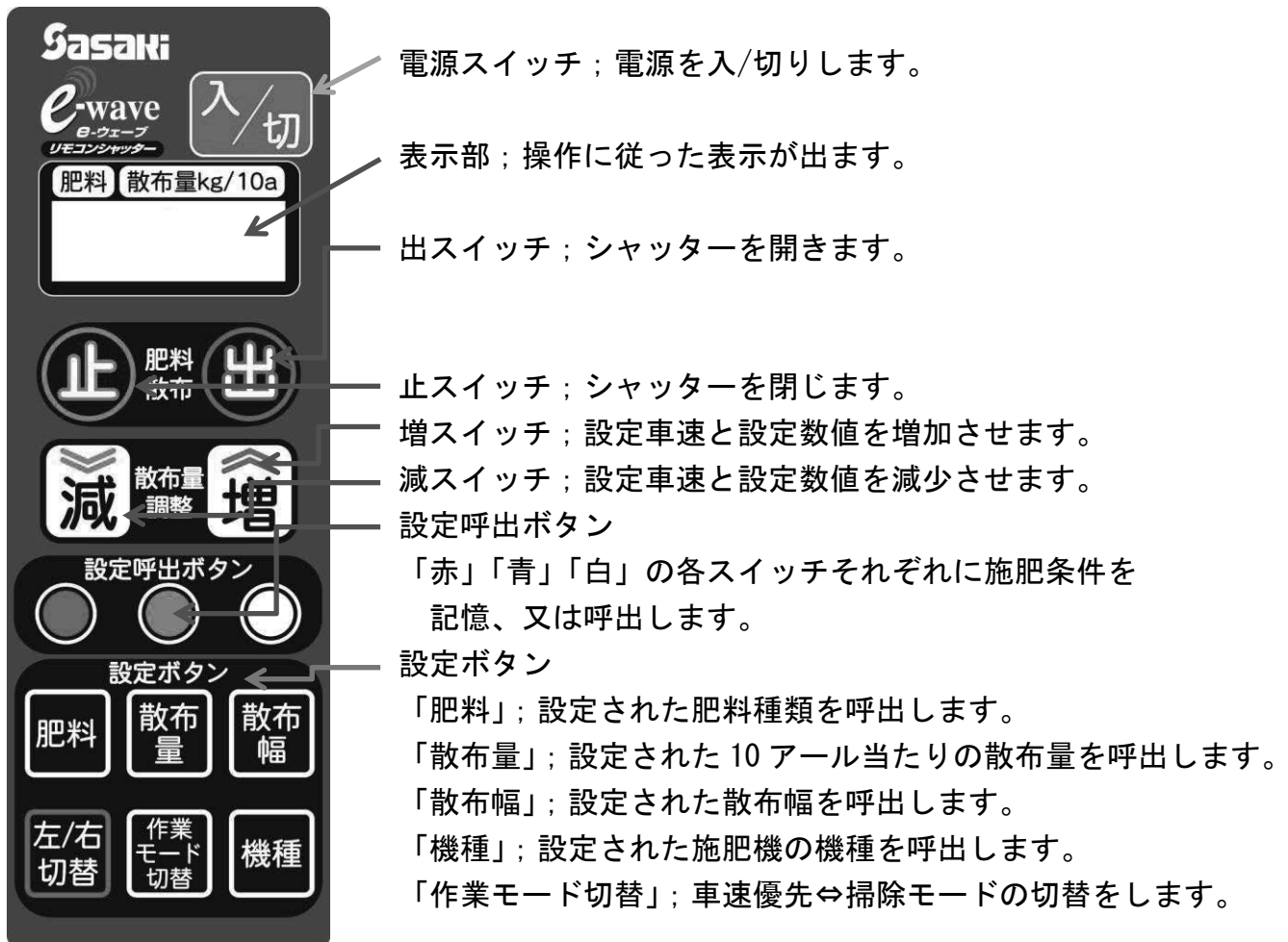
両方スイッチ；左右シャッター同時に開閉します。

右スイッチ；右側のシャッターを開閉します。左側は開きません。

左スイッチ；左側のシャッターを開閉します。右側は開きません。

電源オン。	電源オン後 又は 両方スイッチを押す。	右スイッチを押す。	左スイッチを押す。
開度設定 ■■■ シャッター左右	開度 05 右 左	開度 05 右	開度 05 左
電源オン時は左右 選択状態になりま す。	左右両側選択になります。 出スイッチを押す。	右選択になります。	左選択になります。
	表示が散布に 変わり左右の 選択したシャッ ターが開きます	止スイッチを押す。 シャッターを閉じ、選択した表示に 戻ります。	

### 2) リモコンスイッチの説明



### 3) リモコン操作方法と表示

#### 1、散布作業

<p>① 電源スイッチを押す。</p>	<p>② 設定呼出の「赤」「青」「白」スイッチを押して散布パターンを呼出す。</p>	<p>③ 出スイッチを押すと、シャッターが開く。</p>	<p>④ 増、減スイッチを押すと設定速度が変わります</p>
<div data-bbox="98 450 400 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>車速優先 ■■■ CF200, 300, CFA500</p> </div> <p>■■■は電池残量です。 □□□の時は電池交換してください。</p>	<p>前回散布した散布パターンが最初に呼出されます。</p> <p>下は初期設定値です。</p> <div data-bbox="472 618 743 723" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>粒 6.0 050 停止 km/h</p> </div> <p>車速は 6.0km/h</p>	<div data-bbox="850 450 1121 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>粒 6.0 050 散布 km/h</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 散布に変わります。</li> <li>・ 設定した散布条件でトラクター車速 6.0km/h で走行した場合のシャッター開度が選択され開きます。</li> </ul>	<div data-bbox="1198 450 1469 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>粒 5.5 050 散布 km/h</p> </div> <p>0.1km/h ずつ増減します、散布状態を確認し、変えてください。 速度設定範囲は 1.0~9.9km/h</p>
<div data-bbox="108 835 371 940" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>シャッター開です 止押す</p> </div> <p>シャッターが開いていると表示します、止スイッチを押すと閉じます。</p>	<p>「赤」スイッチ呼出時 粒肥料で散布量 50kg/10a</p> <p>「青」スイッチ呼出時 砂肥料で散布量 100kg/10a</p> <p>「白」スイッチ呼出 粉肥料で散布量 100kg/10a</p>		<p>⑤ 止スイッチを押すとシャッターが閉じる。</p> <div data-bbox="1198 981 1469 1086" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>粒 5.5 050 停止 km/h</p> </div> <p>変更後の速度を記憶し初期画面に戻ります</p>

## 2、散布パターン設定変更と記憶

以下は「赤」スイッチに対しての設定変更と記憶の操作方法です。

「青」「白」に対しては呼出と記憶の時のスイッチ操作がそれぞれのスイッチ操作に変わります。

### ●肥料種類を変更したい場合

<p>① シャッター停止状態の時に赤スイッチを押す。</p>	<p>② 肥料スイッチを押す。</p>	<p>③ 増、減スイッチを押して設定したい肥料を表示させる。</p>	<p>④ 肥料スイッチを押す。</p>
<div data-bbox="114 443 391 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             粒 <sup>6.0</sup> km/h <b>050</b> 停止         </div> <p>・停止はシャッターが閉じています。</p>	<div data-bbox="450 443 710 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>粒（化成）</b> </div> <p>現在記憶している肥料種類が表示される。</p>	<div data-bbox="794 443 1054 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>砂（ヨウリン）</b> </div> <p>肥料種類は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>粒（化成）</u></li> <li>・ <u>砂（ヨウリン）</u></li> <li>・ <u>粉（消石灰）</u></li> <li>・ <u>有機（ケイフン）</u></li> </ul> <p>※有機は有機肥料散布機登録時に表示されます。</p>	<div data-bbox="1161 443 1460 555" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             呼出赤で記憶 他設定ボタンで継続変更         </div> <p>・一旦記憶され上記表示に変わります。</p> <p>・ここで別の設定スイッチを押すとそのスイッチ対応した変更ができます。</p>
<p>⑤ 赤スイッチを押す。</p>	<p>⑥ 赤スイッチを押す。</p>		
<div data-bbox="103 978 391 1090" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             砂 <sup>赤</sup> 押す <b>050</b> 停止         </div> <p>砂が設定され中央に赤押すが表示されます。</p>	<div data-bbox="438 978 726 1090" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             砂 <sup>6.0</sup> km/h <b>050</b> 停止         </div> <p>赤スイッチに登録され初期画面に戻ります。</p>		

●散布量を変更したい場合

<p>① シャッター停止状態の時に赤スイッチを押す。</p>	<p>② 散布量スイッチを押す。</p>	<p>③ 増、減スイッチを押して設定したい散布量を表示させる。</p>	<p>④ 散布量スイッチを押す。</p>
<div data-bbox="108 302 383 414" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             6.0  <b>粒</b> km/h <b>050</b> 停止         </div> <p>・停止はシャッターが閉じています。</p>	<div data-bbox="454 302 718 414" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>050kg/10a</b> </div> <p>現在記憶している散布量の 50kg/10a 表示される。</p>	<div data-bbox="805 302 1069 414" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>055kg/10a</b> </div> <p>1kg ずつ増減します。 散布量設定範囲は</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粒；10～200 kg/10a</li> <li>・砂；10～300 kg/10a</li> <li>・粉；10～250 kg/10a</li> <li>・有機；10～500 kg/10a</li> </ul> <p>※有機は有機肥料散布機登録時に表示されます。</p>	<div data-bbox="1165 302 1460 414" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             呼出赤で記憶              他設定ボタンで継続変更         </div> <p>・一旦記憶され上記表示に変わります。</p> <p>・ここで別の設定スイッチを押すとそのスイッチ対応した変更ができます。</p>
<p>⑤ 赤スイッチを押す。</p>	<p>⑥ 赤スイッチを押す。</p>		
<div data-bbox="108 884 383 985" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             赤  <b>粒</b> 押す <b>055</b> 停止         </div> <p>55kg/10a が設定され、中央に赤押すが表示されます。</p>	<div data-bbox="454 884 718 985" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             6.0  <b>粒</b> km/h <b>055</b> 停止         </div> <p>赤スイッチに登録され初期画面に戻ります。</p>		

●散布幅を変更したい場合

※推奨散布幅が初期設定されていますが、肥料の比重や形状によって初期設定と違う事があります  
 そのような場合に実際の散布幅を測定し、設定変更してください。

<p>① シャッター停止状態の時に赤スイッチを押す。</p>	<p>② 散布幅スイッチを押す。</p>	<p>③ 増、減スイッチを押して設定したい散布幅を表示させる。</p>	<p>④ 散布幅スイッチを押す。</p>
<div data-bbox="108 405 384 506" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             6.0 km/h 粒 050 停止         </div> <p>・停止はシャッターが閉じています。</p>	<div data-bbox="453 398 715 506" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">             10.0m         </div> <p>現在記憶している散布幅の 10.0mが表示される。</p>	<div data-bbox="799 398 1061 506" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">             9.5m         </div> <p>0.1m ずつ増減します。              散布幅設定範囲は 1.0~25.0m              ※MLシリーズの機種登録は散布幅固定の為選択不可が表示されます。</p>	<div data-bbox="1161 398 1460 506" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             呼出赤で記憶              他設定ボタンで継続変更         </div> <p>・一旦記憶され上記表示に変わります。</p> <p>・ここで別の設定スイッチを押すとそのスイッチ対応した変更ができます。</p>
<p>⑤ 赤スイッチを押す。</p>	<p>⑥ 赤スイッチを押す。</p>		
<div data-bbox="108 927 384 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             赤 粒 050 停止              押す         </div> <p>9.5mが設定され、中央に赤押すが表示されます。</p>	<div data-bbox="440 927 738 1032" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             6.0 km/h 粒 050 停止         </div> <p>赤スイッチに登録され初期画面に戻ります。</p>		

3、作業モード切替、掃除モード

シャッターを掃除する場合や残った肥料を出す場合にシャッターを全開、全閉させるモードです。

<p>① シャッター停止状態の時に</p>	<p>② 作業モード切替スイッチを押す。</p>	<p>③ 出、止スイッチを押す。</p>	<p>④ 作業モード切替スイッチを押す</p>
<div data-bbox="108 1505 384 1610" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             6.0 km/h 粒 050 停止         </div> <p>・停止はシャッターが閉じています。</p>	<div data-bbox="453 1505 715 1610" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">             掃除 全閉         </div> <p>シャッターが閉じている時に表示されます。</p>	<p>出、を押すとシャッターが全開まで開きます。</p> <div data-bbox="799 1599 1061 1704" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;">             掃除 全開         </div> <p>止、を押すと閉じます。</p>	<div data-bbox="1161 1505 1460 1610" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             6.0 km/h 粒 050 停止         </div> <p>初期画面に戻ります。</p>

#### 4) 施肥機 CM451, 601 の左右シャッター切替

機種 CM451, 601 ではリモコンシャッターが左用と右用の2つが設定されています。左右シャッター開閉の切替が可能です。



※シャッターが閉じている時に切替選択できます。散布中は操作できません。

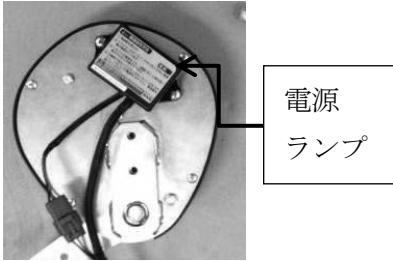
左/右切替スイッチ；1回押すごとに左右選択を切替ます。

電源オン。	電源オン後 又は 3回目押す。	1回目押す。	2回目押す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>車速優先 ■■■■</b>  <b>CM450, 600</b> </div> <p>電源オン時は左右選択状態になります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>粒</b> <sup>6.0</sup> <b>050</b> <sub>km/h</sub> 右 左         </div> <p>左右両側選択になります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>粒</b> <sup>6.0</sup> <b>050</b> <sub>km/h</sub> 右         </div> <p>右選択になります。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>粒</b> <sup>6.0</sup> <b>050</b> <sub>km/h</sub> 左         </div> <p>左選択になります。</p>
	出スイッチを押す。	止スイッチを押す。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>粒</b> <sup>6.0</sup> <b>050</b> <sub>km/h</sub> 散布         </div> <p>表示が散布に変わり左右の選択したシャッターが開きます。</p>	シャッターを閉じ、選択した表示に戻ります。	



## 7、表示内容と処置

表示部に以下が表示された場合は、内容に応じた処置を行ってください。

表示内容	症状	処置
受信機ON?	<ul style="list-style-type: none"> <li>受信機の電源がオフで電源ランプが点灯していない。</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>トラクターのキースイッチをONする。</li> <li>コネクタ類が抜けている。組付け要領を参照しコネクタ接続を再確認する。</li> <li>端子部腐食の可能性があります。接点復活剤等を塗布して、動作確認する。</li> <li>バッテリー接続部のヒューズ切れや腐食の可能性があります、確認し交換する。</li> <li>電装品トラブル、販売店に連絡する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源ランプは点灯している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモコンを施肥機に向けて操作する。</li> <li>受信機電源を再度オンし、リモコン電源も再度オンする。</li> <li>リモコンと受信機がペアかを確認する。</li> <li>リモコンを部品で購入時はペアリング作業が必要です。販売店へ連絡する。</li> </ul>
シャッター開です 止押す	シャッターが全閉まで閉じていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>止スイッチを押す。 シャッターが全閉位置まで閉じます。</li> </ul>
開 異常 閉 異常	シャッター動作中の過負荷でモーターがロックした。 CM451, 601 では右か左かも表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>シャッターアーム連結部を外して動作させ、動く場合は、シャッター部に異物等詰まっているか確認し、掃除する。</li> <li>5分間ほど休ませてモーターを冷却させる。</li> <li>電装品トラブル、販売店に連絡する。</li> </ul>
シャッタ 異常	施肥機側リモコンシャッター本体内のセンサートラブル。 CM451, 601 では右か左かも表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>販売店に連絡する。</li> </ul>

※処置後は受信機電源を再度オンしリモコン電源も再度オンしてください。

異常が解消されると正常に動作します。

## 8、作業前点検と作業開始時の注意事項

### ①ヒューズの点検

本品には、主電源の保護用ヒューズが入っています。切れていると電源が入りませんので作業前に点検し、切れているときは、新しい物に交換してください。(自動車ヒューズ30A)

## ⚠ 注意

・ヒューズが切れた場合は、針金や銀紙などで代用せず必ず同容量のヒューズと 交換してください。又、バッテリー電源との+と-の接続を再度確認してください。

②各施肥機の作業前点検を行ってください。(各施肥機の取扱説明書参照)

## 9、使用上の注意

次のような場所でのリモコンの使用及び保管は避けてください。

- 雨の当たる場所、湿気やゴミ、ホコリの多い場所
- 直射日光の当たる所や高温になる所、極端に寒い所
- 振動の激しい所
- 油煙や湯気の当たる所
- 強い磁場の発生する所(モータ、トランス、磁石のそばなど)

## 10、保守管理

### ⚠ 注意

・リモコン、受信機は多くの電子部品を使用していますので水濡れ厳禁です。雨ざらし、洗浄機や水道ホース等での直接の水洗いはしないでください。

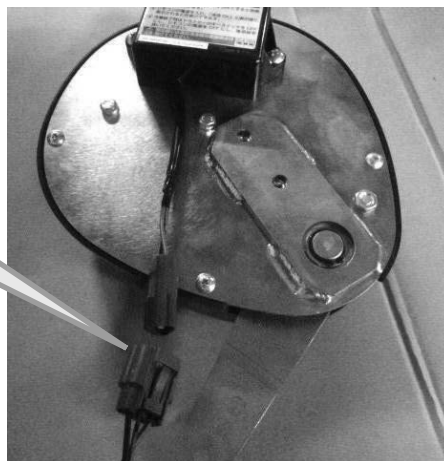
#### 1.作業シーズン中の保守管理

- ①作業終はリモコン、受信機の電源を必ずオフしてください。
- ②配線関係を確認し断線やコネクター抜けがないか点検してください。

#### 2.作業シーズン終了後の保守管理

- ①施肥機を外す場合は必ずシャッター電源ハーネスと受信機の接続を抜いてください。  
抜いたシャッター電源ハーネスはトラクターキャビン内に引き入れてください。

必ず抜いてください。



- ②格納する場合は湿気やホコリのない場所に保管してください。

湿気の多い所や屋外に置いておきますと、結露等で電子部品が故障する場合があります。





株式会社  
**ササキコーポレーション**

ホームページ <http://www.sasaki-corp.co.jp>

本社・工場 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-3111	FAX 0176-22-8607
営業部 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-22-0170	FAX 0176-25-3127
部品窓口 / 〒034-8618	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-259	TEL 0176-25-3170	FAX 0176-25-3171
北東北営業所 / 〒034-0001	青森県十和田市大字三本木字里ノ沢1-75	TEL 0176-23-0354	FAX 0176-23-9655
仙台営業所 / 〒989-1631	宮城県柴田郡柴田町東船迫2-4-11	TEL 0224-58-7780	FAX 0224-58-7782
関東営業所 / 〒329-0201	栃木県小山市栗宮1241-9	TEL 0285-45-8911	FAX 0285-45-8910
長岡営業所 / 〒954-0124	新潟県長岡市中之島字1982-13	TEL 0258-66-0888	FAX 0258-66-0988
岡山営業所 / 〒702-8002	岡山県岡山市中区桑野110-2	TEL 086-274-9508	FAX 086-274-9510

**1411-A6W-531100-1**